

潮の香りと緑ゆたかな坂町

の
広報

さか

平成26年

4月号

第692号

平成26年4月1日発行



関連記事…P19

今月の主な内容 ■平成26年度町長施政方針…P2 ■平成26年度教育行政方針…P7

人口と世帯 男 6,340人(−9) 女 6,865人(−13) 計13,205人(−22) 世帯数 5,589世帯(+1) 3月1日現在(前月比)

発行所／〒731-4393 広島県安芸郡坂町役場企画財政課 電話(082)820-1507 印刷所／今谷印刷株式会社 電話(082)422-2714

坂町のホームページアドレス <http://www.town.saka.lg.jp/sakacho/>

れ、人口が増加したものの、その他の地区では少子高齢化が進み、過疎化も懸念される状況となっています。こうした状況から、地域間の格差の解消と均衡ある地域の発展を図り、世代間の循環が可能な地域を構築するため、県道坂小屋浦線の道路整備、横浜地区などの海岸整備、堰堤を含む河川整備の三位一体の防災対策を実施し、安全・安心なまちづくり、住環境づくりによって、防災面はもとより、民生の安定、若者の定住できる環境整備を行ってまいります。

本町の発展のためには、これらの整備が必要不可欠なものと考えておりますが、これらの整備に必要な経費に対しまして、財源の確保が十分になされない場合には、議会の皆様と御相談をしながら、事業の性格に応じた新たな財源の確保についても検討していかなければならないと考えております。

今後とも親から子へ、子から孫へと歴史・文化・地域を守っていくことのできるまちづくりを目指して、各地区住民福祉協議会とも更なる連携を深め、将来にわたって足腰の強い坂町を町民の皆様と一体となって創造してまいります。

◆平成26年度重要施策

平成21年度に策定いたしました坂町第4次長期総合計画の基本構想に基づき諸事業は順調に成果を上げていますが、平成26年度は中盤を迎える重要な時期であり、これまでの取り組みの検証を踏まえ、更に事業を推進してまいります。計画の推進にあたりましては、坂町の将来像である「自然に恵まれた健康で文化的な住みよいまち」の実現を目指し、町民と行政がまちづくりの目標を共

有し、さらに互いに協力することによって、豊かな生活や地域社会を創造し、「小さくても光り、輝きのあるまち」にするため、私以下全職員が一元となり、全力を挙げて事務事業に取り組み、本年度におきましては、主として次の諸事業を展開してまいります。

○平成ヶ浜地区及びその周辺地区の都市機能の充実

平成ヶ浜地区及びその周辺におき

ましては、民間企業、マンション、戸建住宅、大型商業施設などが進出し、広島県警察学校、県警機動隊、町営・県営住宅などの施設も整備されました。

引き続き、町民が豊かな生活を創造できる行政・教育・文化など多様な都市機能が集積した中心拠点としての充実を図ります。

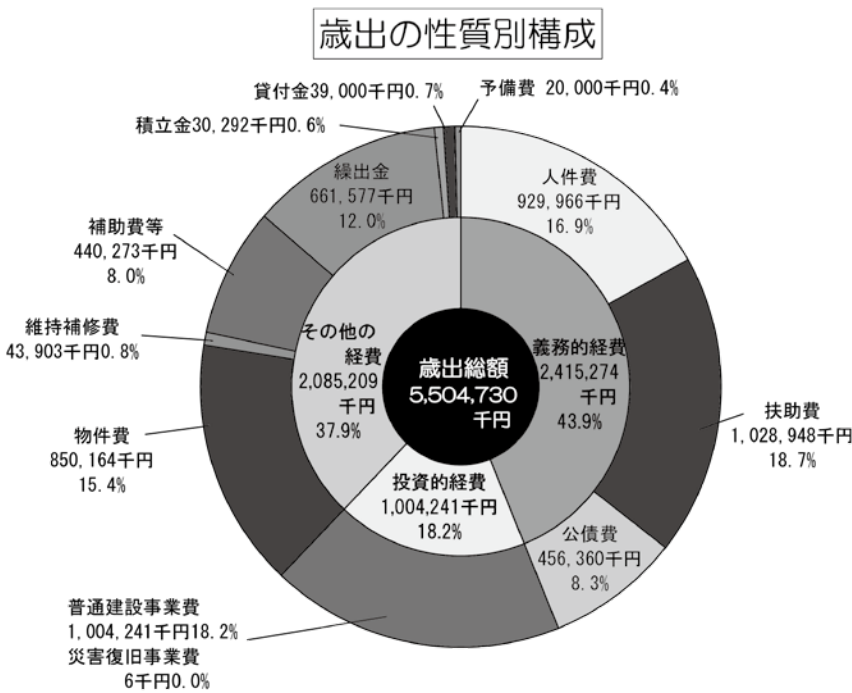
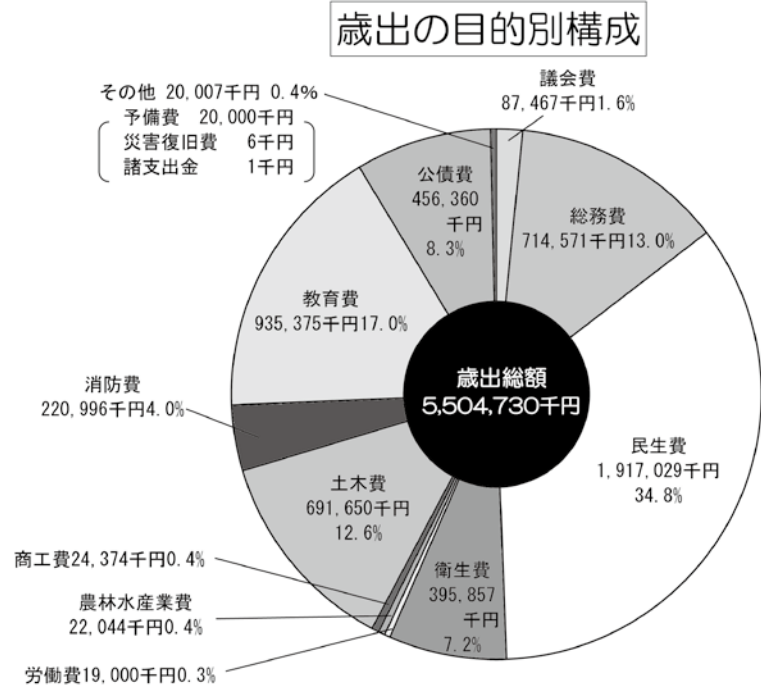
○広域幹線道路の整備

近年、本町では大型商業施設の進

出が相次ぎ、近隣市町から多くの買い物客が訪れています。また、企業の進出などにより、国道31号で慢性的な交通渋滞が発生しており、渋滞の緩和対策及び歩行者の安全対策として、4車線化の整備を実施していただくよう、近隣自治体と連携を図りながら関係機関へ働きかけてまいります。

現時点で、国土交通省は、広島県道路の有料期間が平成32年度に終了予定とされている中で、以前実施さ

平成26年度 当初予算



町長施政方針

平成26年度

平成26年度の坂町政を推進するにあたりまして、施策の方針を申し述べ、町民の皆様方の御理解と御協力をいただきたいと思います。

◆社会的展望と課題

我が国の経済は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」により円高の是正や株高が進み、内需を中心として景気回復の動きが広がっておりますが、地方へはまだその効果は伝わっていない状況にあります。

また、平成26年4月から消費税率が8%に引き上げられることから、駆け込み需要の反動減による景気の下振れも懸念されます。

今日の地方公共団体を取り巻く環境は、少子高齢化の進行による社会構造の変化が大きく影響し、歳入面では生産年齢人口の減少による税収入の低迷が続く、歳出面では社会保障関係費が増大していくことが予測され、厳しい状況に向かうものと推測されます。

このような状況の中で、本町で

は、これまでも職員数の削減や事務事業の見直しなどに取り組んでまいりましたが、現下の厳しい財政状況の中で、単独町制の維持を図るためには、身の丈に合った、自主自立の行財政運営と一層の行財政改革が必要と考えております。

このため、坂町第2次行政改革推進計画に基づき、満足度の高い行政サービスの提供、自主自立が可能な行財政基盤の確立など、行財政全般にわたる改革を引き続き積極的かつ計画的に進めてまいります。

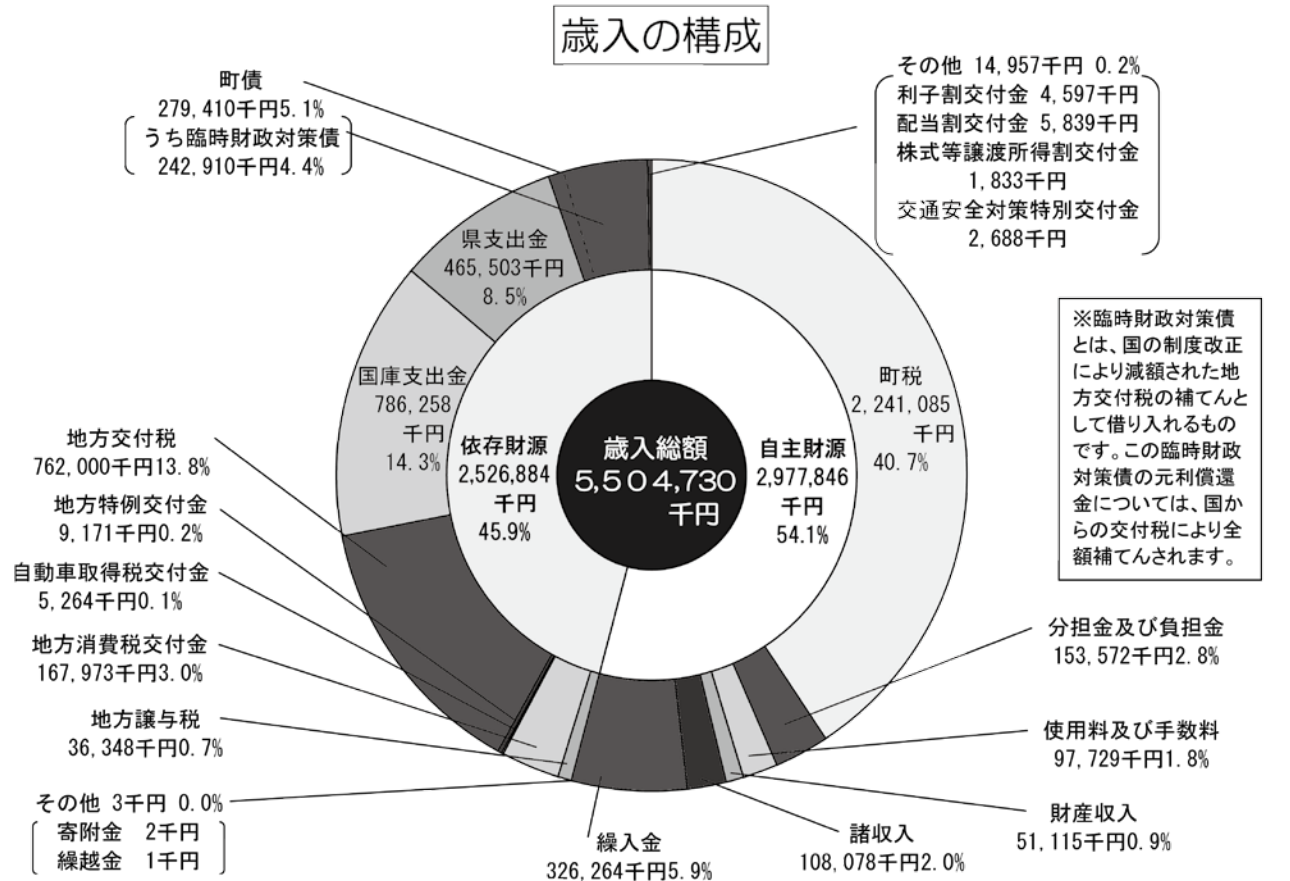
また、行政の公助に頼るだけではなく、行政と町民が役割分担を行い、一体となって物事に取り組む共助が重要であると考えております。

◆新たなまちづくりに向けて

本町は、単独町制を維持し、自主自立の行財政運営を図るための施策として、子育て支援住宅等の整備を行い、若い世代の定住化を促進いたしております。

この結果、平成ヶ浜地区や坂東の一部地区では、新たな住宅も整備さ

平成26年度 当初予算



○**消防設備の強化**
○**避難訓練の実施**
○**災害時要援護者避難支援制度の推進**
広島市消防局、坂町消防団、坂町女性防火クラブ、坂町少年消防クラブ、各地区自主防災会と密接な連携を図り、複雑多様化する災害に対応し、地域住民の安全を確保するため、坂町地域防災計画に基づき災害に強いまちづくりに向けた防災教育や防災訓練の実施、自主防災組織の育成・充実等の促進、消防機材、安全装備品の整備充実に努めてまいります。
本年度は、本部分団に配備しております消防ポンプ自動車を更新し、性能、操作性の向上等、消防設備の機能強化を図ってまいります。
デジタル方式へ更新された防災行政無線は、全国瞬時警報システム（J-ALERT）を装備し、大規模地震発生時や各種武力攻撃における緊急情報を瞬時に提供することが可能となっております。
本年度完成する町民交流センターは、一度に1,500人が避難できる坂町中心部の災害避難場所としての機能や、体育・文化の場として使用できる施設であります。南海トラフ巨大地震等、大規模災害に備えるための備蓄倉庫や自家発電等、坂町の防災拠点となる施設となっております。

災害から住民の身を守るため、有事の際の避難場所の確認や避難経路を地域住民とともに検証し、よりよい避難方法を身につけることを目的として、平成23年度から避難訓練を実施しておりますが、これからも継続実施することといたしております。この避難訓練の検証でいただいた皆様からのご意見等を次の避難訓練に繋げていき、回数を重ねることに、より良い避難方法を確立し、町民の生命と財産の保護のため、体制強化に努めてまいります。
災害時要援護者避難支援制度につきましては、住民福祉協議会、民生委員・児童委員の皆様をはじめとする避難支援関係団体の御協力のもと、自力で避難することが困難な方を身近な地域で支えあう仕組みを、地域の皆様と共に築いてまいります。
○**福祉事務所の充実**
近年、ますます多様化しております福祉サービスの提供につきましては、福祉サービスを中心に相談支援体制や就労支援体制を充実し対応してまいります。
○**健康づくりの推進**
保健・医療につきましては、町の健康増進計画である第2次健康さか21に基づき、保健センターを拠点に、健康教育・健康相談・訪問指導に加え、ウォーキングを中心とした運動教室の開催など、町民の皆様の健康づくりに取り組んでまいります。
また、安心して出産や子育てのできる町を目指し、新たに、妊娠を希望する女性等を対象に、風しん予防接種費用の全額助成を実施するほか、引き続き、不妊治療と不育症

し、小屋浦地区及び坂地区にも可能な範囲で延伸いたしました。
平成21年度には、坂町循環バス事業の継続運行とバス車両の長寿命化のため、新規にバス1台を購入いたしました。
また、昨年度は、バス利用者の利便性の向上はもとより、ウォーキング中の休憩や急な雨等の避難場所として、坂横浜のバス停に吹き込み防止板を、坂植田のバス停に日よけを設置いたしました。
今後も、運行形態の検討も併せ、引き続き現路線の更なる利用促進を図るよう努力してまいります。
○**公共下水道水洗化率の向上**
○**下水道長寿命化計画事業の推進**
○**雨水浸水対策の推進**
本町の公共下水道事業につきましては、昭和61年度に事業着手して以来、早期完成を目指し鋭意、整備を進めてまいりました。平成16年度には、平成ヶ浜等の開発区域を含め約380haの面整備が完了し、市街化区域面積に対する整備率は概ね100％となりました。生活環境の改善や公共用水域の水質保全、下水道事業経営の安定化を推進するため、一日も早い水洗化率100％を目指し努力してまいります。
また、公共下水道計画区域外の地域では、小型浄化槽の補助制度を活用していただき、町内全体の快適で健康的な生活環境づくりを推進してまいります。
雨水排水対策につきましては、計

治療を受けている方への治療費の助成、乳幼児への家庭訪問の強化や育児相談、母親学級の開催など、母子保健医療の充実に取り組んでまいります。
○**第5期介護保険事業計画の推進**
○**第6期介護保険事業計画の策定**
○**小規模特別養護老人ホームの整備**
○**介護予防の推進**
高齢者福祉につきましては、第5期介護保険事業計画に基づき、小規模特別養護老人ホームの整備を着実に進めるとともに、平成27年度からの第6期介護保険事業計画を策定してまいります。
また、介護予防としてのウォーキングに自らが取り組んでいただけるよう、65歳以上の方に万歩計を配付するとともに、高齢者の死亡要因の上位となっている肺炎の予防を図るため、引き続きインフルエンザワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンの接種の助成を実施してまいります。
さらには、一人暮らし高齢者や認知症の方の増加など高齢者に関する様々な課題や相談に対応するため、地域包括支援センターを核とし、関係機関と連携して地域包括ケアシステムの構築に取り組み、高齢者の地域生活を支えるまちづくりを推進してまいります。
福祉医療費助成事業につきましては、重度心身障害者医療費助成制度、乳幼児等医療費助成制度、及び、ひとり親家庭等医療費助成制度の医療費の一部負担金を昨年度から

画的に町内5箇所に雨水ポンプ場を整備してまいりましたが、供用開始から20年以上経過した雨水ポンプ場施設において、長寿命化を含めた計画的な改築等を行い、事故の未然防止及び将来にわたっての維持管理費の削減を図ることを目的とした下水道長寿命化計画に基づき、昨年度は、浜宮ポンプ場の長寿命化に向けた電気設備、機械設備、外壁塗装等の整備工事を実施いたしました。
また、横浜ポンプ場においては、昨年度、浸水対策関連調査の結果に基づき、ポンプ設備の増設、能力の向上に係る実施設計を実施いたしました。
本年度は、この実施設計に基づき、ポンプ設備の増設、排水能力の向上に係る整備工事を実施いたします。
○**環境美化事業の推進**
ごみの排出抑制、資源化、リサイクル等につきましては、資源ごみの処理施設と一時保管施設を集約したリサイクルセンター坂を拠点として、町民・事業者の御協力をいただきながら、ごみの減量化等の推進に努めてまいります。
廃棄物の処理に関しましては、ダイオキシン類の発生を抑え、自家発電も行う熱分解ガス化溶融炉を導入した安芸クリーンセンターで、広域処理体制による可燃ごみ処理の適正化・効率化をいたしております。
安芸クリーンセンターは、平成14年12月の施設の本格的稼働から11年が経過していることから、安芸地区

れた広島県道路の無料化社会実験の結果、渋滞が緩和された実績などから、暫定的に海側の歩道拡幅を検討しております。
○**県道坂小屋浦線の整備**
県道坂小屋浦線は、坂地区の主要な道路である町道総頭川1号線が、J・Rと平面交差していること、狭隘であること等から、防災上、安全上、交通渋滞などの様々な課題を解決するための道路として、平成13年3月に都市計画決定が行われました。
関係地権者をはじめ、多くの方々に御理解をいただき、平成ヶ浜から町道総頭川1号線までを1工区として、用地買収を進めており、昨年度、町道除大曲線と県道が接する箇所に擁壁を一部施工しております。
県道坂小屋浦線は、坂地区市街地の骨格道路として、まちづくりを行ううえで是非必要な道路であり、引き続き関係地権者の方々の更なる御理解、御協力をいただきながら、本格的な建設工事に向けて広島県と共に事業を推進してまいります。
○**都市再生整備計画事業の推進**
○**橋梁・トンネル整備事業の推進**
生活基盤に欠かせない町道等公共施設の整備につきましては、少子高齢化への対応、福祉環境及び防災機能の充実、交通便利性の向上、町内循環バスの運行など、より快適で安全な生活環境の創出と生きがいを味わえる生活空間の形成を目指す中で、坂地区においては住民代表によ

る坂地区まちづくり協議会から道路整備などのまちづくり方針が提案されています。
本町といたしましても、このまちづくり方針の実現に向けて地域住民と協働して創意と工夫を行いつつ、平成23年度から5カ年計画で第2期都市再生整備計画事業を導入し、良好な住環境を支える生活道の整備を目的として、円滑な通行の確保と併せて県道坂小屋浦線とのアクセス向上のための新設道路などを積極的に推進してまいります。
地域において身近に利用される生活道路につきましては、道路の改良や歩道の整備による安全対策を進めてまいります。
また、経年劣化により施設整備が必要となっている橋梁や上条トンネルは、補強、改修など必要な対策を実施し利用者の安全を確保します。
町内道路の一方通行等につきましては、道路改良等に伴い地域住民の理解が得られる場所について、関係機関と協議のうえ、人によさしい道づくりを推進してまいります。
○**町内循環バス事業の推進**
生活バス交通は、地域住民、特に高齢者をはじめ交通弱者の方々にとって欠くことのできない公共交通手段であるため、病院、役場及び坂駅等に手軽に行ける町民ニーズに沿った町内循環バスを平成15年4月から運行いたしており、多くの町民の方々に利用していただいております。
平成16年度は2台目のバスを購入

し、小屋浦地区及び坂地区にも可能な範囲で延伸いたしました。
平成21年度には、坂町循環バス事業の継続運行とバス車両の長寿命化のため、新規にバス1台を購入いたしました。
また、昨年度は、バス利用者の利便性の向上はもとより、ウォーキング中の休憩や急な雨等の避難場所として、坂横浜のバス停に吹き込み防止板を、坂植田のバス停に日よけを設置いたしました。
今後も、運行形態の検討も併せ、引き続き現路線の更なる利用促進を図るよう努力してまいります。
○**公共下水道水洗化率の向上**
○**下水道長寿命化計画事業の推進**
○**雨水浸水対策の推進**
本町の公共下水道事業につきましては、昭和61年度に事業着手して以来、早期完成を目指し鋭意、整備を進めてまいりました。平成16年度には、平成ヶ浜等の開発区域を含め約380haの面整備が完了し、市街化区域面積に対する整備率は概ね100％となりました。生活環境の改善や公共用水域の水質保全、下水道事業経営の安定化を推進するため、一日も早い水洗化率100％を目指し努力してまいります。
また、公共下水道計画区域外の地域では、小型浄化槽の補助制度を活用していただき、町内全体の快適で健康的な生活環境づくりを推進してまいります。
雨水排水対策につきましては、計

画的に町内5箇所に雨水ポンプ場を整備してまいりましたが、供用開始から20年以上経過した雨水ポンプ場施設において、長寿命化を含めた計画的な改築等を行い、事故の未然防止及び将来にわたっての維持管理費の削減を図ることを目的とした下水道長寿命化計画に基づき、昨年度は、浜宮ポンプ場の長寿命化に向けた電気設備、機械設備、外壁塗装等の整備工事を実施いたしました。
また、横浜ポンプ場においては、昨年度、浸水対策関連調査の結果に基づき、ポンプ設備の増設、能力の向上に係る実施設計を実施いたしました。
本年度は、この実施設計に基づき、ポンプ設備の増設、排水能力の向上に係る整備工事を実施いたします。
○**環境美化事業の推進**
ごみの排出抑制、資源化、リサイクル等につきましては、資源ごみの処理施設と一時保管施設を集約したリサイクルセンター坂を拠点として、町民・事業者の御協力をいただきながら、ごみの減量化等の推進に努めてまいります。
廃棄物の処理に関しましては、ダイオキシン類の発生を抑え、自家発電も行う熱分解ガス化溶融炉を導入した安芸クリーンセンターで、広域処理体制による可燃ごみ処理の適正化・効率化をいたしております。
安芸クリーンセンターは、平成14年12月の施設の本格的稼働から11年が経過していることから、安芸地区

衛生施設管理組合では、既存施設の性能を維持しつつ長寿命化を図るという国の指針、本町を除く安芸郡3町からの長寿命化による存続要望、そして、財政負担の軽減やより一層の地球温暖化対策等からも、国の支援制度を活用した長寿命化の取り組みを推進することといたしております。
本町といたしましても、この主旨にのっとり、関係者の御理解、御協力をいただきながら、安芸地区衛生施設管理組合や関係町と連携いたし、既存施設の長寿命化を推進してまいりたいと考えております。
環境問題につきましては、地球温暖化防止・二酸化炭素の排出削減を推進するため、全世帯に配布いたしましたマイバッグを活用していただき、引き続きレジ袋の削減に努めてまいります。また、町内に設置している外灯につきましては、引き続き、蛍光灯からLED照明への取替えを進めてまいります。
○**海岸保全施設整備事業の推進**
台風などによる沿岸部の越波対策について、横浜海岸のうち、横浜東一丁目の町護岸及び横浜小学校付近の県護岸の高上げ等、海岸線の整備は、県が国庫補助事業として工事を実施し、完成いたしました。
離岸堤の設置につきましては、4基の内、昨年度までに2基が完成しており、残り2基の早期完成に向け、県や国に強く要望してまいりたいと考えております。

れており、相当な成果を上げていることについて、指導者及び関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

今後におきましても、指導者の育成と確保に努め、坂町教育委員会と連携し、スポーツ・文化の振興を図ってまいります。

○小・中学校英語教育の充実

国際化がますます進展する中、子どもたちに、これからの国際社会に生きる必要な基礎を身につけさせるため、小学校においては、英語に慣れ親しませる学習を、本年度も引き続き実施してまいります。また、小学校5・6年生では、学習指導要領に示されている外国語活動を引き続き実施いたし、充実してまいります。

中学校においては、学習指導要領に示されている外国語の目標である、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うため、引き続き外国語指導助手により、コミュニケーション能力の向上を図る教育を充実させてまいります。

○海外研修の実施

国際交流につきましては、外国の文化や言語を学ぶとともに、現地での生活体験、人々との交流等を通じて、国際的な視野及び知識を身につけた、幅広い活動ができる人材の育成を目指し、中学生を対象とした海外研修を実施いたします。これまでの取り組みを活かし、日本人としてこれからの国際社会を生き延びていく

うえで大切な、自らの国に誇りを持ち、郷土や国を愛する心を育んでまいります。

○防災教育の充実

○環境学習の推進

学校施設の耐震化及び改修整備につきましては、児童生徒の安全確保及び災害時における地域住民の避難場所を確保するため、施設の耐震化と併せ教育環境の向上を図るための改修及び環境負荷の低減効果が期待される太陽光発電システムの導入などを計画的に推進してまいります。

その結果、平成23年度までに、中学校4校の整備が完了し、全ての学校施設の耐震化が図られたとともに、校舎等の改修整備により教育環境の向上が図られました。

今後は、これらの学校施設の適切な点検及び維持管理に努めるとともに、大雨土砂災害や地震、津波などによる災害から児童生徒の身を守るための定期的な避難訓練の実施や町主催の避難訓練に積極的に参加するなど防災教育を充実させてまいります。

また、太陽光発電システムを導入した小学校においては、本年度も引き続き環境教育を実施し、子どもたちが環境についての理解を深め、環境を大切にし、環境の保全に配慮した行動がとれるよう、環境問題についての学習を推進いたし、中学校においても、小学校での学習の成果を踏まえ、継続的、発展的に環境学習に取り組んでまいります。

○都市公園の整備

公園緑地等の整備につきましては、これまで計画的に実施いたしてあり、平成16年度からは21世紀健康増進公園ネットワーク計画に基づき、遊歩道や都市公園等の整備を計画的に行ってまいりました。

近年、本町では、平成ヶ浜地区に戸建住宅、民間のマンション、さらには子育て支援住宅及び併設保育園建設等、各種事業の推進により、良好な市街地の形成を進め、人口増加など成果が現れております。

また、坂本郷地区、横浜地区におきましても、民間の住宅建設等により、人口が増加しております。

これらにより、子どもの人口が増加する中で、子どものための遊び場が少なく、以前より、子育て世代の保護者から、子ども専用の遊び場の確保について、強い要望を受けておりました。

子どもの遊び場を充実させ、安心して子どもを生み育てる環境をつくるため、子育て世代がふれあい、交流できるスペースの整備が必要と考え、昨年度、平成ヶ浜地区内において、広島県が管理しております、さか・なぎさ公園内の広場を有効活用し、坂地区、横浜地区、小屋浦地区など、坂町内の全ての子どもが利用できる、年齢に応じた遊具、休憩施設等を設置した、「さけり・さかなぎさ公園」を整備いたしました。

また、平成ヶ浜中央公園等の既存公園3箇所に、日よけ、雨よけ施設を整備いたしました。本年度も引き続き

き、既存公園の整備改修を実施いたします。

○ウォーキングトレイル事業の推進

国から補助採択を受けているウォーキングトレイル事業は、本年度の坂めぐりルートの森条火葬場線の整備で終了することになります。が、歩きやすい歩行者空間を維持し、引き続き、悠々健康ウォーキング大会などに活用することで、ウォーキングによるまちづくりを推進します。

○住宅リフォーム補助事業の実施

地域経済の活性化及び居住環境の向上、住宅の長寿命化の促進のため、町内の建築事業者等を活用して自己の所有する住宅のリフォーム工事を行う方に対し、住宅リフォーム補助事業を昨年度に引き続き実施いたします。

○ベイサイドビーチ坂の活用

広島県が整備した、全区間1,200mの西日本最大級の人工海浜であるベイサイドビーチ坂につきましては、海を活かした活動的なレクリエーションと人々のふれあいの場として、町内外から多数の方々の利用をいただいております、引き続き、ビーチでの各種イベントも支援してまいります。

今後、本町といたしましては、施設の有効活用及び利便性の向上を図るための施策や海水浴シーズンにおける国道の渋滞緩和、歩行者の安全

平成26年度

教育行政方針

学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、大切な何かを成し遂げようとするために志を立て、そのために強い精神力を持つて努力し、将来「自立した社会人」として活躍できるような人づくりに努め、社会の変化に的確に対応する英知や技能、人や自然へのやさしさ、創造力豊かな感性、たくましく生きるための意欲などが培えるように、「生きる力」を育む教育を推進し、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に努めます。

生涯学習では、町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し、夢と希望と生きがいを持った生活が実現できるように取り組むとともに、町民同士の絆や交流・連携を大切にしながら、人が輝くまちづくりを進めます。

とりわけ、道徳心の高揚につきましては、学校教育、生涯学習を通じて、人と人とのつながりを大切に、家庭・学校・地域が一体となって、取り組むことができるよう努めます。

〈学校教育〉

○「礼節」を基本とした教育を推進
人として正しく生きるための魅力ある道徳教育を推進し、一人ひとりの児童・生徒が夢や希望を育み、未来に向けて自らの人生を切り拓いていくことのできる力を身につける教育に努めます。

また、地域・保護者の協力を得て、ボランティア活動や自然体験活動、郷土の伝統や文化に親しむ活動などの豊かな体験を通じて、児童・生徒の内面に根ざした道徳性を育み、お互いがお互いを助け合い、認め合う社会を創造し、美しい坂町の自然を大切に、郷土を愛する子どもを育成を図ります。

とりわけ、相手に対する挨拶や言葉遣い、時と場をわきまえた適切な言動をとることのできる「礼儀」や、自分自身についてよく考えて行動し、生活することのできる「節度」については、これらを児童・生徒の「学ぶ姿勢の礎」ととらえ、全ての教育活動を通して育成します。特に、小・中学校の連携を密に

し、児童・生徒の成長に合わせた指導が充実するよう取り組みます。

また、「子どもたちは私たち大人の姿を見て育つ」といわれているように、大人自らが範を示しながら児童・生徒の育成が図られるよう、保護者や、地域の皆様が一体となった取組の充実に努めます。

○体験活動を推進

集団宿泊活動など豊かな体験活動を通して、児童・生徒の人間性や社会性を育てる教育を推進します。特に、小学校においては、3泊4日の長期の集団宿泊活動や夏季休業中の「サマースクール」を実施し、家庭や地域の協力を得ながら児童の「豊かな心」、「健やかな体」の育成を図ります。

○確かな学力の向上

広島県「基礎・基本」定着状況調査等の結果によると、各学校ともに、基礎学力はおおむね定着しています。今後は、結果で明らかにした成果や課題を踏まえ、指導内容・指導方法等の改善を進め、年間指導計画をより一層充実し、個に応じたきめ細かな指導を展開します。

また、児童・生徒の学習意欲を高め学習習慣を確立するために、保護者と協力しながら家庭学習の一層の定着を図るとともに、夏季休業中等に、基礎・基本が定着していない児童・生徒に対して、一人ひとりの学力に応じた個人指導や学力補充を行うなど、基礎学力の向上に努めます。

さらに、知識や技能を活用し、問題を解決できる児童・生徒の育成のため、算数・数学、理科の学習においては、反復による指導や観察・実験、課題学習を充実させるなど、理数教育の充実に取り組みます。

○ことばの教育を推進

「ことばの力」を身に付けさせるため、国語だけでなく各教科等の教育活動全体で「ことばの教育」を展開します。

各教科等においては、国語で培った「ことばの力」を基本に、記録・要約・説明・論述といった「言語活動の充実」を図ることにより、さらに「ことばの力」を高め、各教科等のねらいである思考力・判断力・表現力等の育成を効果的に図ります。

また、読書の習慣化を図るとともに、児童・生徒が落ち着いて学習に集中できる環境づくりに資するため、「朝の読書」活動を一層充実します。このため、図書館司書の活用など学校図書の実を図るとともに、図書館へ児童・生徒向け図書の計画的な整備を進めます。

○キャリア教育を推進

今日の厳しい経済情勢や産業・経済及び雇用の構造的変化に伴い、学校生活から職業生活への円滑な移行が難しい状況が生じているため、将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付けさせる教育の充実が求められています。

対策などについて、引き続き県等の関係機関へ働きかけてまいります。

平成26年度の施政方針の大綱を申し上げましたが、行財政改革を着実に実施し、行財政運営のより一層の簡素効率化に努め、節度ある財政運営を行いたいと考えております。

私は、町政の基本理念は、町民一人ひとりが健康に恵まれ、安全で快適な生活環境の中で、活力と生きがいのある生活を営むことができる地域社会を形成することであると考えるております。

このような社会を実現するため、町民の皆さまをはじめ、各方面からの御意見を耳を傾け、何を求めているかを的確に判断し、その実現のため、今後あらゆる創意と工夫のもとに、地に足が着いた政策を着実に推進してまいり所存でございます。

議会の皆様をはじめ、町民の皆さまの深い御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

このため、家庭・地域・事業所の協力をいただき、将来を見据えた子どもたちの勤労観・職業観を育てるため、キャリア教育の充実に努めます。

○環境教育を推進

地球温暖化や自然環境の破壊をはじめとした環境問題は、緊急かつ重要な課題となっています。

豊かな環境を守り、将来に引き継いでいくためには、自主的・積極的に環境保全活動に取り組むとともに、環境問題について学習することが重要であり、特に、21世紀を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要です。

このため、太陽光発電システムを導入した小学校においては、子どもたちが環境についての理解を深め、環境の保全に配慮した行動がとれるようにするため、社会、理科、家庭科などの教科や道徳の時間、特別活動における環境に関わる内容の充実を図るとともに、総合的な学習の時間において環境問題についての学習を展開してまいります。

また、中学校においても、小学校での環境教育の成果を踏まえ、継続的・発展的に環境教育に取り組みます。

○教職員の資質・指導力の向上

学校が、その教育機能を十分発揮できるかどうかは、教職員の資質・指導力によるところが大きいため、専門職としての知識や能力と、教育への情熱をもった人材の育成に努めます。

教育委員会の主催研修や各学校における校内研修などを充実させ、教えるプロとしての自覚や意欲を高めるとともに、その資質・指導力を最大限に発揮し、信頼される学校づくりに努めます。

○生徒指導上の諸問題対策を推進
不登校やいじめ問題をはじめ、生徒指導上の諸問題の解決を図るために、小・中学校間や保護者との連携を密にし、生徒指導体制の確立やスクールカウンセラーなどを活用した教育相談体制の充実を図ります。

また、児童・生徒が、決められたルールを守るなかで、自ら行動を選択し、その行動に責任をもつことや、一人ひとりがかけがえのない存在であること、互いに尊重し共感的に理解しあう人間関係づくりに留意した授業づくりを進めるとともに、子どもや保護者の立場にたち、内面に触れる生徒指導を徹底し、児童・生徒理解を深め、生徒指導上の諸問題の未然防止に努めます。

特に、いじめ問題については、どの子にも、どの学校にも起こりうる問題として切実に受け止め、徹底して取り組むべき重要な課題であるため、各学校においては、いじめ問題の早期発見、早期対応に努め、問題の悪化を防止して解決に結びつけるための取組を推進します。

○情報化に対応した教育を推進
急速な高度情報通信社会の進展に伴い、情報化に対応した教育が求め

○生涯学習環境の整備を推進
多様な学習ニーズに応えるため、町民センターや図書館等を活動拠点とした、生涯学習環境の整備とネットワークの強化を図り、生涯にわたる生きがいをもつて暮らし、学習活動ができる「文化の香り高い坂町」の実現に努めます。

今年度、9月開館予定の町民交流センターは、本来の体育施設としての機能に加え、坂地区における拠点避難所という機能整備に重点を置き、併せて、文化行事にも対応できる施設として整備しています。

この施設が、町民に親しまれ、町民の新しい交流拠点として活用され、生涯学習環境の充実につながるよう利用促進に努めます。

○図書館の読書活動を推進
子どもの読書活動については、坂町子ども読書活動推進計画に基づき、読書に関する講座や絵本の読み聞かせの開催など、楽しみながら自主的に読書に親しむ環境づくりを目指します。

平成26年1月から実施した図書館利用者の坂駅南口自転車等駐車場利用の無料化など、利用者に応じた図書館サービスに努め、町民の皆さまが気軽に利用できる、親しみやすい図書館づくりを目指します。

県立図書館の蔵書については、インターネット予約貸出サービスにより、坂町立図書館で貸出し・返却が可能です。これらのサービスの啓発に努め、貸出の利用促進を図ります。

られていきます。このため、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会へ参画する態度などの「情報活用能力」を、児童・生徒の発達段階に応じて、身に付けさせる教育を進めます。

その際、情報を扱う際のルール・マナーや危険回避などの安全面についての指導など、児童・生徒が情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度を育てることに努めます。

○特別支援教育を充実
児童・生徒の自立や社会参加を図るために、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その持てる力を高め、障害による生活上や学習上の困難を克服するよう、適切な指導や必要な支援を行います。

このため、各学校においては、障害のある児童・生徒の個別的教育支援計画を作成するとともに、通常学級に在籍する児童・生徒を含め、特別な配慮が必要となる児童生徒支援の個別の指導計画を作成し、その活用を努めます。

また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を整え、関係機関や専門家等との連携を積極的に進めるとともに、研修の充実に努め、指導内容や指導方法を工夫改善します。

○国際化に対応した教育を推進
わが国や郷土の伝統や文化を正しく理解し、日本国民としての自覚と

○生涯学習推進体制を充実
社会の変化や町民の学習ニーズに応じた学習機会の提供や、学習活動をより豊かで魅力あるものとするため、中心的役割を担う指導者やコーディネーターの確保と育成に努め、生涯学習を推進する体制の確立を図ります。

○生涯スポーツを推進
各年齢層に応じた各種事業を推進し、一人でも多くの人にスポーツに親しんでもらえるようスポーツの更なる普及活動を展開します。

特に、子どもの体力の低下傾向が指摘されるなか、家庭・学校・地域が連携して子どもが積極的なスポーツに親しむ習慣や意欲を培う環境づくりに努めます。

また、健康の維持増進や、コミュニティ活動の促進を図るウォーキング活動の普及に努め、関係機関と連携して、坂町悠々健康ウォーキング大会等を開催します。

さらに、生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ推進委員及び体育協会等の協力のもと、各種大会・行事を開催するなど、町民相互の交流と体力の向上を図り、体育・スポーツの振興に努めます。

○道徳心の高揚と実践力の育成
「子は親の後ろ姿を見て育つ」といわれているように、親や地域住民が範を示して子どもの教育にあたるのが最も大切であることから、家庭・学校・地域が一体となって道徳

誇りをもった児童・生徒を育成します。

国旗・国歌を尊重する精神を育成し、坂町の伝統や文化を取り入れた教育活動を積極的に進め、それらを継承し、発展させる意欲をもった児童・生徒の育成に努めます。

また、小学校においては、1年生から4年生までは英語に慣れ親しませる学習を、また、5・6年生では外国語活動を、引き続き実施し充実させます。

中学校においては、外国語の目標を踏まえ、コミュニケーション能力の基礎を養うため、引き続き、外国語指導助手を活用した授業を実施します。

○安全・安心な学校環境の整備
既に完了している学校施設の耐震化及び改修整備については、今後とも施設の適切な点検及び維持管理に努めるとともに、大雨土砂災害や地震・津波などによる災害から身を守るため、定期的に避難訓練を実施し、また、町主催の避難訓練に積極的に参加するなど、防災教育を充実させます。

さらに、昨年度から導入した緊急時一斉メール配信システムの運用を進め、気象に関する警報発令時など自然災害発生時等の児童・生徒の安全確保にも努めます。

○食育を推進
「食」は、生きる上での基本であり、知・徳・体の基礎となるべきものです。そのため、様々な経験を通

心を高める意識啓発活動のより一層の充実を図ります。

また、青少年育成坂町民会議や学校等と連携を密にして、あいさつ運動や道徳作文、青少年の主張等への参加を促進するなど、あらゆる機会をとおして、他人を思いやる心や善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーを身につけることや、相互に助け合える地域社会の形成に努め、道徳心の高揚と実践力の育成に努めます。

○放課後子どもプラン等を充実
子どもたちが放課後や週末等の自由な時間を安全・安心に活動できるよう地域の方々の手で学習活動を提供する「放課後子ども教室」や、町民センター等で実施する「子どもチャレンジ講座」の更なる充実に努めます。

概ね10歳までの児童を対象とした「留守家庭児童会」は、放課後子ども教室と連携し、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成と子育て支援の充実に努めます。

○芸術・文化活動の振興
芸術・文化を大切にする社会の実現を図っていくための環境を整えるとともに、引き続き、「坂町歌」「坂町音頭」の普及と活用振興を図り、地域に根ざした芸術・文化活動がより一層、活発に推進されるよう努めます。

また、芸術・文化団体やサークルの育成と支援を継続するとともに、

じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することのできる人間を育てる食育の推進が求められています。

このため、栄養に関する専門性を持つ栄養教諭を中心として、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、学校給食を通じた地場産食材の活用をはじめ、学校、家庭、地域が一体となって食育が進められるよう努めます。

○体力・運動能力の向上
体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかわつており、「生きる力」の重要な要素です。

坂町の児童・生徒の体力・運動能力の状況については、体力・運動能力調査の結果によると、全体的に改善の傾向にあるものの、広島県や全国の平均を下回っている種目も残っています。

そのため、各学校では、調査結果を踏まえ、体力づくり改善計画を作成し、小学校体育や中学校保健体育の授業をはじめ、学校教育活動全体の取組の工夫改善を進め、児童・生徒の体力づくりを計画的に推進します。

○開かれた学校づくりを推進
各学校は、学校により、授業参観、学校ホームページ等により積極的に学校の情報を発信するとともに、地域人材を活用した授業の実施や、地域の行事への積極的な参加な

文化協会及び関係機関・団体等と連携を密にして、伝統文化や芸術などの活動が活発に展開されるよう、情報の提供や発表・参加機会の場の拡充を図ります。

特に、郷土芸能については、後継者育成が大きな課題であり、町民への普及啓発や団体活動の支援とともに、地域・行政などと連携して、保存伝承活動の充実に努めます。

○町史の普及・活用
歴史資料の普及啓発及び、郷土愛をはぐくむことを目的に、刊行された4編の町史を活用して、青少年から高齢者まで幅広い年齢層を対象に各種事業を展開し、継続的に坂町史の普及啓発活動に努めてまいります。

また、町史編さん事業に伴い収集した資料を町民に広く公開し、町民がより一層、郷土に対する認識を深め、郷土に誇りを持つよう、歴史史料の保存と活用に努めます。

○国際交流の推進
21世紀を担う青少年が広く世界に目を向け、海外の多様で異なる文化・生活・習慣などに直接触れることにより、国際的な感覚で物事を考える豊かな心を育み、国際化に対応できる人材の育成をめざし、本年度、中学生を対象とする第4回坂町海外研修青少年対象事業を実施します。

事業概要としては、過去3回実施した成果・課題を踏まえ、ホームステイ体験、現地学校訪問、県人会交流、語学研修等の内容を検討し、内

ど、児童・生徒と地域住民等の交流機会の充実を図り、保護者や地域住民等から理解と協力を得るよう努めます。

このほか、ひろしま教育の日に合わせ実施する「学校へ行こう」週間も充実させ、「開かれた学校づくり」を推進します。

○学校経営基盤の強化
望ましい学校経営を推進するため、学校評価制度・人事評価システムや学校評議員制度等の充実、校務規程の整備等を図り、校長を中心として、教職員が組織で対応できる学校運営体制の確立に努めます。

〈生涯学習〉
○学習機会の提供
町民一人ひとりが心豊かに潤いのある日々を送るため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の場と情報の提供に努めます。

特に、地域で子どもを育てる環境づくりを推進し、親子のふれあいを大切にした事業や家庭教育に関する情報の提供などによる家庭教育の支援を行いつつ、子どもたちの健全育成のための体験機会の充足に努めます。

また、豊富な経験・技能と意欲を備えた高齢者をはじめとする幅広い世代の方々が、主体的な学習や社会活動が行えるよう、学習要求と学習課題を把握し、生き甲斐の持てる活動を推進し、異世代交流事業の支援に努めます。

られています。このため、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会へ参画する態度などの「情報活用能力」を、児童・生徒の発達段階に応じて、身に付けさせる教育を進めます。

その際、情報を扱う際のルール・マナーや危険回避などの安全面についての指導など、児童・生徒が情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度を育てることに努めます。

○特別支援教育を充実
児童・生徒の自立や社会参加を図るために、一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、その持てる力を高め、障害による生活上や学習上の困難を克服するよう、適切な指導や必要な支援を行います。

このため、各学校においては、障害のある児童・生徒の個別的教育支援計画を作成するとともに、通常学級に在籍する児童・生徒を含め、特別な配慮が必要となる児童生徒支援の個別の指導計画を作成し、その活用を努めます。

また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を整え、関係機関や専門家等との連携を積極的に進めるとともに、研修の充実に努め、指導内容や指導方法を工夫改善します。

○国際化に対応した教育を推進
わが国や郷土の伝統や文化を正しく理解し、日本国民としての自覚と

誇りをもった児童・生徒を育成します。

国旗・国歌を尊重する精神を育成し、坂町の伝統や文化を取り入れた教育活動を積極的に進め、それらを継承し、発展させる意欲をもった児童・生徒の育成に努めます。

また、小学校においては、1年生から4年生までは英語に慣れ親しませる学習を、また、5・6年生では外国語活動を、引き続き実施し充実させます。

中学校においては、外国語の目標を踏まえ、コミュニケーション能力の基礎を養うため、引き続き、外国語指導助手を活用した授業を実施します。

○安全・安心な学校環境の整備
既に完了している学校施設の耐震化及び改修整備については、今後とも施設の適切な点検及び維持管理に努めるとともに、大雨土砂災害や地震・津波などによる災害から身を守るため、定期的に避難訓練を実施し、また、町主催の避難訓練に積極的に参加するなど、防災教育を充実させます。

さらに、昨年度から導入した緊急時一斉メール配信システムの運用を進め、気象に関する警報発令時など自然災害発生時等の児童・生徒の安全確保にも努めます。

○食育を推進
「食」は、生きる上での基本であり、知・徳・体の基礎となるべきものです。そのため、様々な経験を通

じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することのできる人間を育てる食育の推進が求められています。

このため、栄養に関する専門性を持つ栄養教諭を中心として、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、学校給食を通じた地場産食材の活用をはじめ、学校、家庭、地域が一体となって食育が進められるよう努めます。

○体力・運動能力の向上
体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかわつており、「生きる力」の重要な要素です。

坂町の児童・生徒の体力・運動能力の状況については、体力・運動能力調査の結果によると、全体的に改善の傾向にあるものの、広島県や全国の平均を下回っている種目も残っています。

そのため、各学校では、調査結果を踏まえ、体力づくり改善計画を作成し、小学校体育や中学校保健体育の授業をはじめ、学校教育活動全体の取組の工夫改善を進め、児童・生徒の体力づくりを計画的に推進します。

○開かれた学校づくりを推進
各学校は、学校により、授業参観、学校ホームページ等により積極的に学校の情報を発信するとともに、地域人材を活用した授業の実施や、地域の行事への積極的な参加な

容の充実に努めます。

また、幼少期から英語に慣れ親しむための英語講座や語学講座、国際理解講座、町内に居住する外国人と交流する講座などの開催により、他国の文化や習慣等について理解を深め、国際的な視野をもった人材の育成に努めます。

○生涯学習
○学習機会の提供
町民一人ひとりが心豊かに潤いのある日々を送るため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の場と情報の提供に努めます。

特に、地域で子どもを育てる環境づくりを推進し、親子のふれあいを大切にした事業や家庭教育に関する情報の提供などによる家庭教育の支援を行いつつ、子どもたちの健全育成のための体験機会の充足に努めます。

また、豊富な経験・技能と意欲を備えた高齢者をはじめとする幅広い世代の方々が、主体的な学習や社会活動が行えるよう、学習要求と学習課題を把握し、生き甲斐の持てる活動を推進し、異世代交流事業の支援に努めます。

■コミュニティホールさか使用料

部 屋 名	4月1日から	
	部屋使用料	冷暖房使用料
児 童 室	640 円	300 円
多目的室1	210 円	100 円
多目的室2	210 円	100 円
会 議 室	100 円	100 円
和 室	100 円	100 円

■北新地芝グラウンド使用料 (1時間あたりの使用料)

時 間 帯	4月1日から	
	町 内	町 外
午 前 8時30分～12時30分	1,620 円	3,240 円
午 後 13時～17時	1,620 円	3,240 円

■坂町保健センター設備使用料

部 屋 名	4月1日から	
	部屋使用料	冷暖房使用料
研 修 室	640 円	320 円
栄養指導室	430 円	210 円
保健指導室	210 円	100 円
健康相談室	320 円	160 円
多 目 的 室	320 円	160 円

(1時間あたりの使用料)

■坂町自転車等駐車場使用料

●坂駅北口・坂駅臨時自転車等駐車場

利 用 区 分		4月1日から
自 転 車	1 か月	920 円
	3 か月	2,760 円
	6 か月	4,620 円
	1 年	8,330 円
	1 日	100 円
原動機付自転車 大型自動二輪車 普通自動二輪車	1 か月	1,850 円
	3 か月	5,550 円
	6 か月	9,250 円
	1 年	16,660 円
	1 日	200 円

●坂駅南口自転車等駐車場

利 用 区 分		4月1日から
自 転 車	1 か月	1,020 円
	3 か月	3,060 円
	6 か月	5,140 円
	1 年	9,250 円
	1 日	100 円
原動機付自転車 大型自動二輪車 普通自動二輪車	1 か月	2,050 円
	3 か月	6,150 円
	6 か月	10,280 円
	1 年	18,510 円
	1 日	200 円

■北新地グラウンド使用料

時 間 帯	4月1日から	
	町 内	町 外
午 前 8時30分～12時30分	3,240 円	5,400 円
午 後 13時～17時	3,240 円	5,400 円
夜間 19時～21時	パターンA	5,500 円
	パターンB	5,240 円
	パターンC	4,780 円

■坂町保育所使用料

時 間 帯	4月1日から
昼 間	540 円
夜 間	750 円
昼 夜 間	1,290 円

■特定家庭用機器廃棄物収集運搬手数料

区 分	1個につき	4月1日から
収集及び運搬を伴う場合		3,080 円
搬入に伴う運搬を行う場合		2,570 円



4月から

8%

消費税率の国際比較

国	消費税率
日本	8%
アイスランド	20%
台湾	19%
フランス	19.6%
香港	25%
中国	17%
韓国	10%

※アメリカでは、州・郡・市により小売売上税が課されています。

あなたの医療・年金・介護・子育てを守るため、消費税のご負担をお願いします。

今回の消費税率引き上げ分は全て医療・年金などにあてられます。

消費増税に伴い、公共施設利用料金の改定を行います

4月1日より、消費税率が5パーセントから8パーセントに引き上げられることに伴い、公共施設等の使用料等に消費税率引き上げ分を適正に転嫁するため、4月1日以降の使用料等の金額が変更となります。
新たな使用料等は、次のとおりです。

■坂町行政財産の使用料

区 分	単 位	使 用 料
1日のうち、時間を単位として使用する場合	100平方メートルあたり1時間につき	48 円
1日以上7日未満で使用する場合	100平方メートルあたり1日につき	712 円

■坂町立学校設備使用料

使用区分 設備名称		午 前 (8時30分～12時)	午 後 (12時～17時)	夜 間 (19時～21時30分)
小学校屋内運動場	町内	540 円	540 円	1,080 円
	町外	1,080 円	1,080 円	2,160 円
小学校屋外運動場	町内	540 円	540 円	2,160 円
	町外	2,160 円	2,160 円	4,320 円
中学校屋内運動場	町内	540 円	540 円	1,080 円
	町外	1,080 円	1,080 円	2,160 円
中学校屋外運動場	町内	1,080 円	1,080 円	—
	町外	3,240 円	3,240 円	—
中学校武道館 (各武道場につき)	町内	540 円	540 円	1,080 円
	町外	1,080 円	1,080 円	2,160 円

■坂町B&G海洋センター使用料

●施設使用料

部 屋 名		1時間までごと
体 育 館 (全 面)	町 民	700 円
	町民以外	1,400 円
第 2 体 育 館	町 民	350 円
	町民以外	700 円
ミーティングルーム	町 民	170 円
	町民以外	350 円

■坂町立図書館施設使用料

部 屋 名		4月1日から
多 目 的 閱 覧 室		430 円
設 備	拡 声 装 置 (一式)	380 円
	プロジェクター (一式)	210 円
	ス ク リ ー ン (一式)	90 円
	電 源 装 置 (一口)	80 円

(1時間あたりの使用料)

■横浜ふれあいセンター使用料

部 屋 名	4月1日から
研 修 室	640 円
展 示 室	320 円
休 憩 室 (和 室)	210 円
会 議 室	320 円
実 習 室	320 円

(1時間あたりの使用料)

■坂町町民センター使用料

部 屋 名	4月1日から
視聴覚教室	750 円
会 議 室 1	640 円
会 議 室 2	320 円
美術工芸室	640 円
和 室	540 円
調理実習室	430 円
大 ホ ー ル	2,690 円

(1時間あたりの使用料)

●プール使用料

部 屋 名			9時～12時	13時～16時	17時～20時
個人使用	町 民	大人	210 円	210 円	210 円
		小人	100 円	100 円	100 円
	町民以外	大人	320 円	320 円	320 円
		小人	160 円	160 円	160 円
団体使用	町 民		540 円	540 円	540 円
	町民以外		1,080 円	1,080 円	1,080 円

■小屋浦ふれあいセンター使用料

部 屋 名	4月1日から
小 会 議 室	320 円
大 会 議 室	640 円
大 会 議 室 (半室使用)	320 円
児 童 室	430 円
工 芸 室	320 円
調理実習室	320 円
和 室	210 円

(1時間あたりの使用料)

■坂町立公民館使用料

部 屋 名	4月1日から
児 童 室	210 円
調理実習室	320 円
和 室	100 円
集 会 室	320 円
会 議 室	210 円

(1時間あたりの使用料)

平成26年第2回坂町議会（定例会）が3月5日に開会され、提案された案件がすべて可決されました。

【決まった議案等】

- 専決処分をした事件の報告について（広島県市町総合事務組合規約の変更について）
- 平成25年度坂町一般会計補正予算（第8号）
- 平成25年度坂町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

蔵入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算に1億1919万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を60億5956万7千円とするもの

●平成25年度坂町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

蔵入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算に3305万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を



17億6873万1千円とするもの

●平成25年度坂町下水道事業特別会計補正予算（第4号）

蔵入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から125万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を7億629万1千円とするもの

●平成25年度坂町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

蔵入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から2716万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を11億2447万6千円とするもの

●平成25年度坂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

広島県後期高齢者医療広域連合からの通知及び蔵入・歳出予算の決算見込みに基づく補正を行ったもので、これまでの予算から932万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億5051万6千円とするもの

●定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の制定について

国家公務員退職手当法の一部改正に伴い、早期退職募集制度を導入するため制定するもの

●使用料等の消費税等相当額の加算に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

使用料等について消費税の税率が引き上げられることに伴い、消費税等相当額を加算するため、各条例について所要の改正を行うもの

●坂町立町民交流センター条例の制定について

坂町立町民交流センターの設置及び管理に関する事項並びに使用料を定めるもの

●特別児童扶養手当認定等事務の事務委託に関する協議について

広島県と坂町との間における特別児童扶養手当認定等事務の事務委託に関し、規約を定めるもの

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

障害程度区分に係る市町村審査会による審査及び判定の基準等に関する省令の改正に伴う名称の改正及び坂町史編さん専門員の廃止に伴い改正するもの

●坂町社会教育委員会条例の一部改正について

社会教育法の改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準を条例に定めるもの

●坂町立図書館条例の一部改正について

多目的閲覧室の使用料等に関する事項について条例に定めるもの

●坂町B&G海洋センター条例の全部改正について

貸出形態を時間単位に変更するとともに、近隣類似施設の使用料を勘案し、受益者負担の原則に則り、適正な使用料を定めるもの

●坂町防災行政無線の設置及び管理に関する条例の一部改正について

設置局名の変更及び新たな設置場所を設けたため改正するもの

●坂町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、消防団員の退職報償金額を改正するもの

●坂町消防表彰条例の一部改正について

消防団員以外の個人又は消防の団体以外の団体について、表彰の際の記念品贈呈根拠の明確化を図るため改正するもの

●坂町障害程度区分判定等審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について

障害程度区分に係る市町村審査会による審査及び判定の基準等に関する省令の改正に伴い審査会の名称を改正するもの

●坂町営住宅設置及び管理条例の一部改正について

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正に伴い、配偶者からの暴力被害者の保護の対象者の拡大に伴い、必要な事項を定めるもの

●坂町史刊行委員会条例の廃止について

坂町史刊行委員会の廃止に伴い廃止するもの

●坂町ホームヘルプサービス事業条例の廃止について

町主体の事業が、国主体の事業に変更されたことに伴い廃止するもの

●平成26年度坂町一般会計予算

対前年度比4・0%減の55億

473万円の予算総額とするもの

●平成26年度坂町国民健康保険事業特別会計予算

対前年度比4・4%増の17億558万6千円の予算総額とするもの

●平成26年度坂町下水道事業特別会計予算

対前年度比34・0%増の9億4182万5千円の予算総額とするもの

●平成26年度坂町後期高齢者医療特別会計予算

対前年度比1・0%減の11億2909万8千円の予算総額とするもの

●平成26年度坂町後期高齢者医療特別会計予算

対前年度比2・0%減の1億531万9千円の予算総額とするもの

●坂町教育委員会委員の任命の同意について

坂町小屋浦二丁目
平沖 純子 氏
を任命することに同意するもの

●坂町監査委員の選任の同意について

坂町小屋浦二丁目
西本 昭孝 氏
を選任することに同意するもの

●坂町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

坂町坂東一丁目
井上 輝幸 氏
坂町小屋浦四丁目
山下 幸博 氏
を選任することに同意するもの

●坂町下水道使用料

下水道使用料に係る消費税相当額が5パーセントから8パーセントにかかります。なお、現在継続して下水道使用料をお支払いいただいている方につきましては、5月検針分まで消費税相当額が5パーセントとなります。

I.一般家庭汚水

使用水量（㎡）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
20	1,566	1,681	1,797	1,912	2,028	2,143	2,259	2,374	2,490	2,606
30	2,721	2,898	3,075	3,252	3,430	3,607	3,784	3,961	4,138	4,315
40	4,492	4,744	4,996	5,247	5,499	5,751	6,002	6,254	6,505	6,757
50	7,009	7,260	7,512	7,764	8,015	8,267	8,519	8,770	9,022	9,273
60	9,525	9,777	10,028	10,280	10,532	10,783	11,035	11,287	11,538	11,790
70	12,042	12,293	12,545	12,796	13,048	13,300	13,551	13,803	14,055	14,306
80	14,558	14,892	15,225	15,559	15,893	16,227	16,560	16,894	17,228	17,561
90	17,895	18,229	18,563	18,896	19,230	19,564	19,897	20,231	20,565	20,899
100	21,232	21,566	21,900	22,233	22,567	22,901	23,235	23,568	23,902	24,236
110	24,570	24,903	25,237	25,571	25,904	26,238	26,572	26,906	27,239	27,573
120	27,907	28,240	28,574	28,908	29,242	29,575	29,909	30,243	30,576	30,910

130以上の場合は、以下の計算方法で簡単に算出することができます。
130～200（㎡）：〔（309円×使用水量）-11,240円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）
201（㎡）以上：〔（340円×使用水量）-17,440円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）

（単位：円 消費税込みの額）

II.業務用汚水

使用水量（㎡）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
20	1,566	1,681	1,797	1,912	2,028	2,143	2,259	2,374	2,490	2,606
30	2,721	2,912	3,103	3,295	3,486	3,677	3,868	4,059	4,250	4,442
40	4,633	4,909	5,186	5,462	5,739	6,015	6,292	6,568	6,845	7,121
50	7,398	7,674	7,950	8,227	8,503	8,780	9,056	9,333	9,609	9,886
60	10,162	10,439	10,715	10,992	11,268	11,545	11,821	12,098	12,374	12,651
70	12,927	13,204	13,480	13,757	14,033	14,310	14,586	14,862	15,139	15,415
80	15,692	16,041	16,390	16,738	17,087	17,436	17,785	18,134	18,483	18,831
90	19,180	19,529	19,878	20,227	20,576	20,925	21,273	21,622	21,971	22,320
100	22,669	23,018	23,366	23,715	24,064	24,413	24,762	25,111	25,459	25,808
110	26,157	26,506	26,855	27,204	27,552	27,901	28,250	28,599	28,948	29,297
120	29,646	29,994	30,343	30,692	31,041	31,390	31,739	32,087	32,436	32,785

130以上の場合は、以下の計算方法で簡単に算出することができます。
130～200（㎡）：〔（323円×使用水量）-11,310円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）
201～400（㎡）：〔（392円×使用水量）-25,110円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）
401～1,000（㎡）：〔（437円×使用水量）-43,110円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）
1,001～2,000（㎡）：〔（471円×使用水量）-77,110円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）
2,000（㎡）以上：〔504円×使用水量〕-143,110円〕×1.08（1円未満の端数は切り捨て）

（単位：円 消費税込みの額）

坂町住宅リフォーム補助事業を今年度も行います

坂町では、居住環境の向上、住宅の長寿命化の促進及び地域経済の活性化を目的として、町民の皆様が町内建築業者等により行う、住宅リフォーム工事に対して補助の助成を行います。

- ◆申請期限：平成26年12月26日（金）まで
※申請総額が予算額を超過する場合には、申請締切前であっても募集を終了いたします。また工事開始前に申請を行い、交付の決定を受ける必要があります。
- ◆補助対象者：町内に住所を有する世帯主
（申請者の属する世帯に、町に納付するべきものの滞納がある場合は対象外）
- ◆補助対象住宅：補助対象者が居住のために町内に所有する住宅（一戸建て・店舗併用・共同住宅）で建築後1年以上が経過しているもの。
- ◆補助対象者：補助対象工事額の10%（上限10万円）

詳しい内容は、案内チラシ又は坂町役場ホームページ<http://www.town.saka.lg.jp/sakacho/>をご覧ください、坂町役場都市計画課 ☎（820）1513へお問い合わせください。

平成
26年度

夏期住民総合健診

(基本健診(特定健診)・がん検診等)のご案内

今年度から特定健康診査及びB・C型肝炎ウイルス検査が無料になりましたので、ぜひ受診してください。

【申込受付期間】

4月1日(火)～4月25日(金) 当日消印有効

実施日程

☆基本健康診査(特定健康診査)のみ、がん検診のみの申込みもできます。
☆どの会場で受けていただいても、かまいません。

健 診 日	場 所	定 員	受付時間
6月3日(火)	小屋浦ふれあいセンター	75人程度/日 乳がんは40人/日	8時30分～10時 乳がん・子宮頸がんのみ 13時～14時
6月4日(水)	町民センター	75人程度/日 乳がんは40人/日	すべて 8時30分～10時
6月5日(木)			
6月6日(金)			
6月7日(土)			

※原則として、申込書の到着順に受付をします。

※小屋浦ふれあいセンターには駐車場がありませんので、お車でお越しの方は町民センターで受診してください。

申込
方法

基本健診(特定健診)・がん検診等申込書を郵送するか、役場保険健康課、保健センター、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンターへ直接提出してください。

※申込みは坂町に住民登録のある方に限ります。事前に申込みされていない場合は受診できませんのでご注意ください。

※直接提出される場合も4月25日(金)までをお願いします。

★ がん検診等の受診料が無料になる方 ★

町民税非課税世帯、生活保護世帯の方には受診料の減免制度があります。
但し、眼底検査、心電図検査、貧血検査は受診料がかかります。※受付をした方に対し、5月27日(火)頃に折り返し問診票や検査キット等を送ります。
待ち時間短縮のために開始時間を指定し通知します。指定した時間においでください。
申込みをしたのに5月27日(火)を過ぎて問診票が届かない方はご連絡ください。

問合せ先 役場保険健康課 ☎(820)1504

議会報告

平成26年第3回坂町議会(臨時会)が3月24日に開会され、提案した案件を可決し、閉会されました。

●坂町教育委員会委員の任命の同意について

県市押込西平町
枝廣 泰知氏
を任命することに同意するもの

坂町教育委員会委員任命

任期満了に伴い、
県市押込西平町
枝廣 泰知氏坂町小屋浦二丁目
平沖 純子氏

が、4月1日付をもって坂町教育委員会委員に任命されました。



教育長決まる

3月28日に開会された臨時教育委員会会議において、県市押込西平町 枝廣 泰知委員を、4月1日付をもって教育長に任命することになりました。

幼稚園就園奨励費補助金制度のご案内

坂町では、幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図ることなどを目的として、幼稚園就園奨励費補助金制度を実施します。

- 1 対象**
坂町に住所を有する満3歳児から5歳児で、私立幼稚園に通園する園児の保護者で年収680万円以下の世帯が対象です。
- 2 申込の方法**
幼稚園から配布される「保育料等減免措置に関する調書」に必要事項を記入し、必要書類を添えて指定された期日までに幼稚園に提出してください。途中入園した場合は、各幼稚園にご相談ください。
- 3 必要書類**
(1) 生活保護法による保護を受けている方…生活保護受給証明書
(2) その他の世帯…平成26年度町民税・県民税課税台帳記載事項証明書
(請求される時には「幼稚園就園奨励費申請用」と申し出てください。)
- 4 就園奨励費の金額**

【平成26年度 就園奨励費限度額一覧表(年額)】

区 分	対 象 世 帯	就 園 奨 励 費 限 度 額				
		小学1～3年生に兄・姉を有していない場合			小学1～3年生に兄・姉を有している場合	
		1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者(第1子)	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者(第2子)	同一世帯から3人以上就園している場合の左以外の園児(第3子以降)	小学校1～3年生の兄・姉を1人有しており、最年長就園児(第2子)	小学校1～3年生の兄・姉を1人有しており、同一世帯から2人以上就園している場合の左以外の園児及び小学校1～3年生に兄・姉を2人以上有している園児(第3子以降)
I	生活保護法の規定による保護を受けている世帯	308,000円	308,000円	308,000円	308,000円	308,000円
II	当該年度に納付すべき市町村民税が非課税となる世帯又は当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	199,200円	253,000円	308,000円	226,000円	308,000円
III	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が77,100円以下の世帯(年収360万円以下)	115,200円	211,000円	308,000円	163,000円	308,000円
IV	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が211,200円以下の世帯(年収680万円以下)	62,200円	185,000円	308,000円	114,000円	308,000円
	上記区分以外の世帯		154,000円	308,000円	154,000円	308,000円

健診の種類、受診料等

健診の種類	対象者・受診料		留意事項
	20～39歳	40歳以上	
基本健康診査 （特定健康診査）	2,000円	無料 （注1）	・ 特定健康診査は、受診券が必要です。 受診券がない場合は受けられません。 ・ 社会保険の 被保険者（ご本人）の方は対象外 です。 ・ 被爆者健康手帳所持者は、対象外です。 原爆健診を受診してください。
眼底検査	2,000円	2,000円	・ 基本健康診査（特定健康診査）を受けられる方が受診できます。 ・ 特定健康診査を受診される方で、前年度の健診結果が一定基準に該当し、医師からの検査の指示があった場合は、無料です。
心電図検査	2,000円	2,000円	
貧血検査	300円	300円	・ 70歳以上の方、過去に坂町の健診で検査を受けられている方、現在B型・C型肝炎で治療中の方は対象となりません。
B型・C型肝炎ウィルス検査	対象外	無料	
前立腺がん検診 （男性のみ）	対象外	1,600円 （対象は50歳以上）	
骨粗しょう症検診 （女性のみ）	2,200円	600円	
乳がん検診 （女性のみ）	一方向撮影	対象外	・ 一方向撮影と二方向撮影を合わせ、1日の定員を40人とします。
	二方向撮影	対象外	
子宮頸がん検診 （女性のみ）	1,900円	1,900円	
大腸がん検診	1,700円	500円	
胃がん検診	対象外	1,900円	
肺がん検診	対象外	900円	・ 肺がん検診受診者のうち、必要な方に対して、健診当日に喀痰検査（受診料900円）を実施します。
結核検診	対象外	900円 （対象は65歳以上）	

（注1） 40歳～74歳の特定健康診査を受けられる坂町国民健康保険被保険者以外の方の受診料については、加入されている各保険者により受診料が定められていますので、詳しいことは各保険者へ問い合わせてください。

健診内容

＜基本健康診査（特定健康診査）＞

身体計測、問診、尿検査、血圧測定、診察、血液検査（肝機能・血糖・血中脂質）、**腹囲測定**

眼底検査、**心電図検査**、**貧血検査**、保健指導、栄養指導

※  の項目は特定健康診査対象者のみです。

※  の項目は希望者のみ対象となります。

＜肝炎ウイルス検査＞

血液検査で肝炎ウイルスに感染していないかどうかを調べます。

＜前立腺がん検診＞

血液検査でPSA値を調べます。

＜骨粗しょう症検診＞

超音波により、かかとの骨量を測ります。

＜乳がん検診＞

医師による視触診とマンモグラフィを併用して調べます。

＜子宮頸がん検診＞

子宮頸部の細胞を採取して、異常細胞がないかを調べます。

＜大腸がん検診＞

2日分の便をとって調べます。

＜胃がん・肺がん・結核検診＞

エックス線で撮影して調べます。

料金受取人払郵便

広島中央局 承認

207

差出有効期間
平成26年4月
30日まで

切手不要

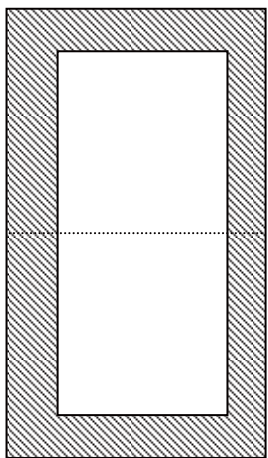
7314390

坂町役場 保険健康課 行

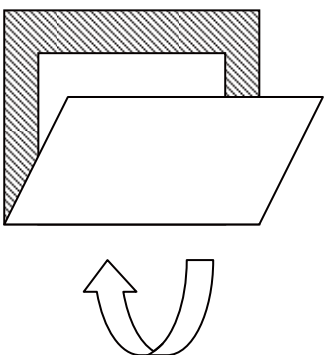
安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目1番1号

山折り

①斜線の部分にのりづけする

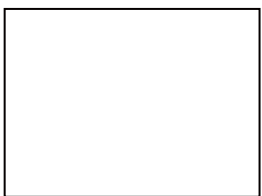


②住所や名前が隠れるように半分に折る



個人情報の保護のためにのりづけに協力をお願いします。なお、役場保険健康課、保健センター、各ふれあいセンターに提出する場合はそのまま提出してください。

③密着させて、申し込む



受付をした方に対し、**5月27日（火）頃**に折り返し問診票や検査セット等を送ります。待ち時間の短縮のために、開始時間を指定し、通知します。指定された時間においでください。**なお、開始時間は、原則として、申し込みの順に指定します。**申し込みをしたにもかかわらず5月27日（火）を過ぎても問診票等が届かない方は、役場保険健康課まで、ご連絡ください。

申込期間

4月1日（火）～4月25日（金）
当日消印有効

第3回坂町悠々健康ウォーキング大会

たくさんのご参加、大変ありがとうございました。

3月23日（日）、中国電力坂スポーツ施設をスタート・ゴールとする「第3回坂町悠々健康ウォーキング大会」が開催されました。

県内外から集まった1,200名を超える参加者は、10km、5km、2kmの3コースに分かれ、町内の公園・史跡等をつなぐウォーキングトレイルや遊歩道を歩きながら、坂町の青い海と緑の山を楽しみました。

完歩した参加者は、笑顔で完歩証を受け取り、女性団体が作った「かき雑炊」に舌鼓を打ちました。ご参加いただいた皆様、協賛いただいた企業各社のお陰で、大会は大成功に終えることができました。皆様に心よりお礼を申し上げます。

これからも、継続してウォーキングを楽しみ、健康づくりに励んでいただき、来年も笑顔での参加を心からお待ちしております。ご参加、ご声援、ありがとうございました。

坂町は、平成22年8月1日に町制施行60周年を迎えたのを記念して、ウォーキングを通じて健康でたくましい「こころ」と「からだ」をつくるため、「悠々健康ウォーキングのまち」を宣言しました。



犬の登録・予防注射についてお知らせ

次のとおり、狂犬病予防注射を実施します。
犬の登録は生涯に一回、狂犬病予防注射は毎年一回受けなければなりません。

と き	と ころ	時 間
4/22 (火)	上条児童遊園地	9時30分～10時10分
	西側新木車庫	10時30分～10時50分
	正原池公園下	11時10分～11時30分
	保健センター前	13時～13時20分
	新張公園	13時30分～13時50分
4/23 (水)	コミュニティーホールさか前	14時10分～15時
	丸子踏切横	9時30分～10時
	植田中央公園	10時20分～11時
	畝ヶ丘団地入口	11時10分～11時30分
	鯛尾消防格納庫前	13時～13時30分
4/24 (木)	西児童遊園地横	13時40分～14時10分
	横浜ふれあいセンター前	14時20分～15時
	水尻公園	9時30分～9時50分
	天地川公園	10時10分～10時40分
	向田児童遊園地	10時50分～11時10分
小屋浦ふれあいセンター前	11時20分～11時40分	
	坂町役場（町民ひろば）	13時～14時

(1)未登録の犬
新規登録手数料 3,000円
狂犬病予防注射実施手数料 2,500円
注射済票交付申請手数料 550円
合 計 6,050円

(2)登録済の犬
狂犬病予防注射実施手数料 2,500円
注射済票交付申請手数料 550円
合 計 3,050円

※ 犬の登録は必ず行い、犬の散歩の時には
フン等の後始末をするなど飼い主の方は
責任をもって飼いましょう。

— お問合せ —
坂町役場 環境防災課
☎ (820) 1506

斜線の部分にのりを塗ってのりづけしてください。

基本健診(特定健診)・がん検診等申込書

〒731-43 安芸郡坂町	電話番号	被保険者番号	被保険者記号・番号
住所	健康保険の種類 (○をして下さい)	の 方 の 方	の 方
フリガナ	氏 名	生年月日	性 別
サカチヨウ メジロ 坂町 めじろ	45 歳 明・大・昭・平 43 年 6 月 1 日	第一希望 6月 6日 第二希望 6月 7日	男・女 男・女 男・女 男・女 男・女
記入例	1	2	3
			4

☆最後にもう一度申込内容を確認し、住所や名前が隠れるように半分に折ってください。

斜線の部分にのりを塗って、のりづけしてください。

「きらり・さかなぎさ公園」完成

昨年より工事を進めてまいりました「きらり・さかなぎさ公園」が完成しました。

「きらり・さかなぎさ公園」は、ロープ遊具や全天候型遊具を備え、子どもの遊び場を充実させ、安心して子どもを生み育てる環境をつくるため、子育て世代がふれあい、交流できるスペースとなることを目的として整備した0歳～12歳までの子ども専用の公園です。

開園期間・時間

期 間	時 間
4月1日～9月30日	午前9時～午後6時
10月1日～12月29日 1月4日～3月31日	午前9時～午後5時

※12月30日～1月3日（年末年始）は休園します。

駐車場：軽自動車・普通自動車専用 32台（昼間、初入庫から30分無料、以降有料）

駐輪場：2ヶ所（計50台）

公園利用について保護者の皆様へ

- ◆6歳までの幼児や保護者の見守りが必要な児童については、必ず保護者同伴で利用してください。また、お子さんから目を離さないようにしてください。
- ◆遊具の間違った使い方は、ケガをすることがありますので、必ず正しい使い方を教えてあげてください。

皆さんが楽しく安全に利用できるように、ルールを守っての利用をお願いします。



青少年対象による海外視察研修



「坂町海外研修青少年対象事業団員募集」

海外の文化等を研修・体験し、豊かな国際感覚を養い、国際交流の輪を広げ、地域の活性化や次代を担う人材の育成を図るため海外研修を実施します。

次の募集内容を検討しお申込みください。

- 期 間** 8月21日(木)～8月26日(火) 5泊6日
- 研 修 地** アメリカ合衆国（ロサンゼルス・サンフランシスコ）
- 研修内容**
- ・ホームステイ体験
 - ・アメリカ移住の人たち等との相互交流
 - ・移民の歴史文化体験
 - ・語学研修等
- 対 象 者** (1)平成26年4月1日現在、町内に住所を有し、居住している中学生
(2)海外研修視察の意欲に燃え、その成果を今後役立てるよう努力する者
(3)健康で協調性に富み、計画に従って規律ある団体行動ができる者
- 申込期間** 4月1日(火)～4月30日(水)
- 募集人員** 15名程度
- 申込方法** 坂町教育委員会生涯学習課、町民センター、坂公民館、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンターにある応募申込書によりお申込みください。
- 選考方法** 坂町海外研修推進委員会による審査（1次審査：作文、2次審査：面接）
- 研修費用** 344,000円。うち**個人負担額は、86,000円**（軽微な増減あり）
- ・その他、渡航手続き及び任意の保険等にかかる費用は、別途個人負担となります。

※この事業は、旅費実費の3/4以内の額を坂町より補助金として交付します。

また、研修終了後、研修報告として研修感想文を提出していただきます。

なお、詳細につきましては、坂町教育委員会（町民センター）へお問合せください。

◎問合せ 町民センター ☎(820)1515

月 日	発 着	時刻(現地時間)	ス ケ ジ ュ ー ル
8/21 (木)	広島空港 成田空港 サンフランシスコ ロサンゼルス	13:55頃 17:25発 11:05着 18:30発 19:52着	広島空港より国内線にて成田空港へ 全日空便利用にてサンフランシスコへ サンフランシスコ市内視察 名物のトラム電車にも乗車します 国内線にてロサンゼルスへ ＜ロサンゼルス 泊＞
8/22 (金)	ロサンゼルス	終日	現地学校訪問（授業体験、交流会等） 南加坂郷友会との懇親会（昼食） 広島県人会事務所表敬訪問 ホストファミリーと対面（各家庭へ） ＜ホームステイ 泊＞
8/23 (土)	ロサンゼルス	終日	引き続き、各ホスト先で滞在 ＜ホームステイ 泊＞
8/24 (日)	ロサンゼルス	終日	ホスト先にて朝食後、別れ、ホテルに集合 ロサンゼルス市内視察 「ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド」訪問 帰国のため、空港へ
8/25 (月)	ロサンゼルス	1:10発	出国手続き後、帰国の途へ ＜機中 泊＞
8/26 (火)	羽田空港 広島空港 町民センター	5:00着 8:20着 10:00頃	到着後、通関。国内線に乗り換え広島へ 着後、送迎バスにて町民センターへ 着後、解散

3月7日(金)呉マリンパーク川原石(二川グラウンド)において、広島県内88チーム176名参加のもと、第2回きて呉んさいクラブペタンク大会が開催されました。坂町

第2回きて呉んさいクラブペタンク大会



▲西谷 修司氏

坂町消防団幹部としての永年の功勞に対し、坂町消防団分団長 西谷修司氏(小屋浦二丁目)に、消防庁長官より永年勤続功勞章が授与されました。

西谷修司氏消防庁長官表彰受章



▲左から、アダムス、みらくる

第29回安芸支部長杯ビーチボール大会

2月23日(日)熊野町民体育館において、第29回広島県ビーチボールバレー協会安芸支部長杯大会が開催され、近郊から31チームが参加し盛大に開催されました。坂体協ビーチボールバレー部から参加した2チームが見事優勝・準優勝しました。

主な成績



▲左から西本昭孝さん、立島昭さん

からは2チーム4名が出場し、西本昭孝さん(小屋浦二丁目)と立島昭さん(小屋浦二丁目)が見事優勝を果たしました。

2月23日(日)広島県立総合体育館グリーンアリーナにおいて、2013年度広島県マスタースターズ2014大会予選会兼ねりんピック2014予選会が、356名参加のもと、盛大に開催されました。坂町からは、体育協会水泳部の1名が参加しました。

2013年度 日本マスタースターズ大会



▲グラウンドゴルフ坂チーム

3月8日(土)海田総合公園において、第21回安芸地区グラウンドゴルフ大会(団体戦2ラウンド16ホール)が広島市安芸区・海田町・熊野町・坂町37チーム222名が参加し開催されました。坂町からは5チーム30人が参加し、坂チーム(一般男子)が見事優勝しました。

第21回安芸地区グラウンドゴルフ大会

新しい町コンのはじまり
「遊べる!出会う!坂町 歩コン♥」
(山登り&バーベキュー)

と き 5月18日(日)9時~15時30分
スケジュール

パルティ・フジ坂→頭部みはらし遊歩道→水尻ベイサイド遊歩道→ベイサイドビーチ坂にてバーベキュー、ビーチフラッグス大会(男性)、ビーチクリーン、フォトコンテスト
集 合 パルティ・フジ坂

申込み・問合せ◎ようよう倶楽部実行委員会 担当:岡村
☎0120(85)0529

参加者募集

解 散 バイサイドビーチ坂
対象と定員 20歳代から30歳代の独身男女各20名(計40名)
参 加 費 男性5,000円 女性3,000円
ゲームでお食事券などの豪華賞品が当たります。
主 催 ようよう倶楽部実行委員会
共 催 みなとオアシスベイサイドビーチ坂運営委員会

◎主な成績
150m バタフライ 1位 難波惣淳 35秒54
100m 個人メドレー 1位 難波惣淳 1分28秒15

坂町消防団

教育訓練実施される

3月2日(日)に坂町消防団の教育訓練が実施されました。1

コミュニケーションホールさ

では、広島市安芸消防署坂出張所のご協力のもと緊急自動車について、分団長からは消防団員の安全についての講習を受けました。また、坂小

校グラウンドではホースの取り扱いや各個訓練等の基礎訓練に取り組み、消防団員としてのスキルアップに努めました。



「町営鯛尾住宅」入居者募集

★町営鯛尾住宅の入居者募集を行います。

◆住宅種別

一般公営住宅 (木造平屋)
募集戸数: 1戸(4号棟: 1DK 約36㎡)
家賃限度額: 13,800円/月から20,600円/月まで
駐車場使用料: 3,000円/月(1世帯につき1台に限る)

◆申込み期間及び方法

期間: 随時募集中(土日・祝日を除く)
方法: 町営住宅入居申込書に必要書類を添えて申し込んでください。

◆受付場所及び受付時間

場所: 坂町役場3階 産業建設課
時間: 午前8時30分から午後5時30分まで

◆入居資格

- 同居親族(婚約者を含む)があること。
※婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある人、又は婚約者のうち仲人等の婚約証明書があるもの。
- 入居者若しくは同居者が坂町出身者(注1)、又は町内に一定期間(現在まで1年以上継続して)住所を有する者若しくは町内に一定期間(現在まで2年以上継続して)勤務地を有する者。
注1 坂町出身者とは原則、坂町に本籍を申込日まで一定期間継続して有する者をいう。ただし、入居申込者若しくは同居者の親又は祖父母のいずれかが申込日まで継続して町内に住所を有している場合には坂町出身者と見なす場合がある。詳細は、産業建設課にお問

お問い合わせ先 産業建設課 ☎(820)1512

い合わせください。
注2 住所を有することとは、坂町の住民基本台帳に記載のあること。

- 日本国籍を有する者
- 税(市町民税、所得税等納付すべきものすべて)を滞納していない者。
- 収入が基準以内の者。
※入居者全員の年額所得の合計が、定められた基準以内であること。詳細については、源泉徴収票等収入のわかる関係書類を持って役場産業建設課にご相談ください。
- 入居者もしくは同居しようとする者が暴力団員でないこと。
※妊娠中の方は母子健康手帳または医師の証明が必要です。
※入居資格等詳しいことについては産業建設課にお問い合わせください。

◆選考方法の概略

申込みが募集戸数になり次第締め切ります。

◆入居可能時期

別途通知します。

◆入居申込書及び申込のしおり

役場産業建設課、町民センター、坂公民館、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンター、坂海洋センターに用意しています。また、坂町ホームページからダウンロードできます。

行政連絡員変更

長い間、町政にご協力いただきました、次の行政連絡員の方が退任され、新しい次の方がお世話をしてくださることになりました。(敬称略)

平成ヶ浜西地区第1行政連絡員
(前任者) (後任者)
二宮 仁 中野 真理子

安芸消防署からのお知らせ

住宅用火災警報機を設置された皆様へ!

- 取扱説明書をよく読んで、適正な維持管理に努めましょう。
※バルサン等の使用により誤って警報器を作動させ、困り果てる前に必ず使用上の注意を守りましょう。
- 火災警報器の交換時期にも気を付けましょう。
設置がお済みでない方は、早期設置が必要です!



タバコの投げ捨てはやめよう!

2月の火災件数
~0件(年間累計 0件)
救急件数
~49件(年間累計 83件)



問い合わせ
安芸消防署坂出張所 ☎(885)0100



子育て応援隊



園庭開放

保育園に遊びに来てください！

< 4月の園庭開放の予定 >

☆対象：町内の入園前の乳幼児と保護者

☆期間・内容・場所

なぎさ若竹保育園	9日(水)	園庭遊具であそぼう！
	16日(水)	砂場遊び
	23日(水)	ボールであ・そ・ぼ！
	30日(水)	かけっこ GO!GO!
横浜若竹保育園	9日(水)	レストランごっこ
	23日(水)	かけっこヨーイ ドン！

☆時 間：10時～12時

☆持参物：タオル、着替え、水分補給のお茶など

問合せ◎なぎさ若竹保育園 ☎(820)1793

横浜若竹保育園 ☎(885)8111

出前広場

「尾鷹公園であそぼう」

～春のポカポカおひさまは気持ちいいよ！～

☆4月8日(火) 10時～11時30分

☆4月22日(火) 10時～11時30分

「尾鷹公園」坂中学校裏のキリンのアスレチックのある公園です。桜の花もきれいですよ。

問合せ◎子育て支援センターなかよしハウス ☎(820)1700

育児講座

「お父さん出番ですよ！」～そば打ち名人になろう～

☆と き 4月27日(日) 10時～12時

☆ところ 子育て支援センター なかよしハウス

☆講 師 中村竜也氏

☆対 象 乳幼児（0～5歳）を持つ子育て中の家族

☆定 員 5組（お母さんと子どもも一緒に！）

☆参加費 一家族につき900円

☆持参物 エプロン・三角巾

☆申込み 子育て支援センターへ直接またはお電話で（定員になり次第締め切り）

「トイレトレーニング」

☆と き 5月1日（木）10時～11時30分

☆ところ 保育園ホール・子育て支援センター なかよしハウス

☆講 師 広松てる子園長

☆対 象 乳幼児（0～3歳）を子育て中の家族

☆定 員 20組

☆託 児 定員20名

☆申込み 直接またはお電話で。

問合せ◎子育て支援センターなかよしハウス ☎(820)1700

なかよし広場 平成26年度前期申込

なかよし広場は、子どもと遊びながら育ちを見つめあい、子育て仲間学びあっていくグループ活動です。

☆対 象

1歳児グループ【火曜日】平成24年4月2日～25年4月1日生まれ

2歳児グループ【木曜日】平成23年4月2日～24年4月1日生まれ

☆期 間

1歳児 5月13日(火)～10月21日(火) 第1・3火曜日
全10回（5月のみ第2・3火曜）

2歳児 5月8日(木)～10月16日(木) 第1・2・3木曜日
全15回（5月のみ第2・3・4木曜）

☆時 間 10時～11時30分（9時30分より受付開始）

☆定 員 各10組（兄弟同伴は各3組まで）

☆参加費 1歳児グループ 1500円（おやつ・材料代）

2歳児グループ 2500円（おやつ・材料代）

☆申込み期間・方法

4月7日(月)～4月14日(月)の間に、子育て支援センターに直接お越しいただくかメールでお申し込みください。

《申し込み多数の場合は抽選にて決定します》

☆メールで申し込む場合

【親子の氏名・子どもの生年月日・住所・電話番号・同伴兄弟の有無（生年月日）を記入してお送りください】

メールアドレス nakayoshihouse - nw@dune.ocn.ne.jp

（お申し込みから3日以内に受付完了のメールをお送りします。届かない場合はお電話でご確認ください）

問合せ◎子育て支援センターなかよしハウス ☎(820)1700

保育所だより

ともに育ちあう

～みんないっしょに大きくなろうね～



小屋浦保育所

子どもたちが心待ちにしていた新年度がいよいよ始まりしました。

保育所は、地域の子どもたちが集う場であり、0歳児から5歳児までの乳幼児が生活や遊びをともにしながら、基本的生活習慣をはじめ、自主性や社会性を身につけていく

場でもあります。

集団生活の中で共通体験を通して、驚き、発見、やる気、喜びを味わい、心や体、友だち関係が育ち、自信を持って一歩を踏み出せるよう、子どもたちの育ちを支えていきたいと思います。



▲子ども同士、遊びを通してやる気・人とのつながりを深めています。



▲「午睡」安心して、ぐっすりおひるの寝



▲「みんなと食べるとおいしいね」



▲「みてみて、はけたよはけたよ」



▲友だちといっしょに遊びを広げていきます。

INFORMATION

お知らせ

一般

平成26年度水質検査計画の公表及びご意見募集

広島市水道局では、平成26年度水質検査計画（水質検査項目、検査回数など）を公表し、水質検査計画へのご意見を募集します。計画内容は、広島市水道局ホームページで閲覧できます。また、坂町役場、広島市水道局安芸営業所の窓口でも印刷物を配布します。

意見の提出方法

郵送、FAXで、12月26日（金）（消印有効）までに広島市水道局水質管理課（〒739-1173 2 安佐北区落合南六丁目1-1）へ。広島市水道局ホームページからも提出できます。問合せ◎広島市水道局水質管理課 ☎(843) 4421 FAX (843) 6141

広島県警察官募集

平成26年度第1回広島県警察採用試験日程が決まりましたのでお知らせいたします。

受験資格

昭和60年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者

受付期間

3月10日(月)から4月10日(木)まで
※試験の詳細については、必ず受験案内でご確認ください。

問合せ◎海田警察署 ☎(820) 0110

地域人づくり事業(坂町PR推進事業)の事業提案募集

この事業は、坂町ブランドとしての商品等を開発・製造し、その商品を県内外へ広く販売することでの町のPRを行って頂きます。事業は坂町が民間企業等に委託し、当該事業の実施のために失業者を雇用するものです。坂町の地域において、産業や社会情勢等の実情に応じた多様な「人づくり」を行うことにより、若者や女性、高齢者等の潜在力を引き出し、雇用の拡大など「全員参加」を可能とする環境を整備する事業です。

事業例

地域資源を活用した商品等で町をPRする事業

委託料 約500万円以内

委託期間

1年以内

応募期限

4月30日(水)

募集要項等、詳細につきましては町ホームページをご覧ください。

問合せ◎役場企画財政課 ☎(820) 1507

相談



無料法律相談

この機会を御利用ください。なお相談される方は、あらかじめ電話で御予約ください。

とき 4月21日(月)

9時30分～12時30分

ところ 平成ヶ浜福祉センター

申込み問合せ◎坂町社会福祉協議会

☎(885) 2611

水道修理などの相談窓口が変わります！



広島市水道局では、事業を効率的に行い、水道管などの維持管理を強化するため、6か所の工事事務所を廃止し、4か所の管理事務所を新設します。

こんなときは、管理事務所で対応します。	対処方法など
○自分の家だけ水が出ないとき	長期間空室などの場合、水が出ないことがあります。メーターがついていない場合や原因がわからないときは、下記へご連絡ください。
○近所一帯で水が出ないとき	工事や突発事故のため、断水の可能性があります。下記へご連絡ください。
○道路からメーターまでの漏水修理	下記へご連絡ください。ただし、メーターから蛇口までの配管や、トイレ・湯沸かし器などの器具からの漏水修理は指定工事業者へお申し込みください。（指定工事業者については、下記にお問い合わせください。広島市水道局ホームページでもご案内しています。）

<坂町担当の窓口>

廃止（3月31日まで）		新設（4月1日から）	
安芸工事事務所	☎ (822) 2193	東部管理事務所(牛田浄水場内)	☎ (223) 6611
	FAX (822) 6606		FAX (223) 6615
		夜間・休日の窓口 広島市水道局水道修理センター ☎ (221) 8099 FAX (222) 6224	

お問い合わせ先 広島市水道局企画総務課広報広聴係 ☎(511) 6808、FAX(221) 5320

保健健康だより



保健センターの行事に参加の方は町内循環バスをご利用ください。自家用車でお越しの方は、役場駐車場または丸子児童遊園地横の町有地をご利用ください。

100万歩 歩いて元気になろう会

と き	ところ
4月17日(木) 9時30分～11時30分	町民センター

持ってくるもの タオル、バスタオル、お茶、筆記用具、体操マット

*運動しやすい服装・靴で御参加ください。
初めて参加される方は、前日までに保健センターへ申し込んでください。

【申込み・問合せ】 保健センター ☎(885)3131



〈保健センター〉
〒731-4314
安芸郡坂町坂西一丁目18番14号
☎(885)3131

筋力アップ教室

今月は筋力アップ教室はお休みです。

育児相談・赤ちゃんの歯の相談（0～12か月の赤ちゃん）

と き	ところ	対象の子	内 容
4月15日(火)	小屋浦ふれあいセンター	0～12か月の赤ちゃん	計測、健康相談、栄養相談
4月22日(火)	保健センター	9～12か月の赤ちゃん	計測、健康相談、栄養相談、 <u>歯科相談</u>
5月12日(月)		0～8か月の赤ちゃん	計測、健康相談、 栄養相談（試食はありません）

受付時間 13時15分～13時55分（小屋浦会場は13時40分まで）*今年度の育児相談は、会場・対象月齢を変更しています。

【申込み・問合せ】 保健センター ☎(885)3131

こどもの健診

健診名	と き	対象の子
乳児健診	4月9日(水)	平成25年11月6日～平成26年1月9日 生まれの子
1歳6か月児健診	4月16日(水)	平成24年9月1日～平成24年10月15日 生まれの子
3歳児健診	4月23日(水)	平成22年12月1日～平成22年12月28日 生まれの子
	5月21日(水)	平成22年12月29日～平成23年2月3日 生まれの子
2歳児歯科健診	5月22日(木)	平成24年1月1日～平成24年3月31日 生まれの子

と ころ：保健センター

受付時間：いずれも13時～13時40分

*対象者には個人通知があります。

【問合せ】 保健センター ☎(885)3131

平成26年度 慰霊巡拝の実施について

広島県では、戦没者の遺族を対象に、旧ソ連・中国及び南方の各地に慰霊巡拝の実施を予定しています。実施時期、予定地域、募集人員等の詳細についてはお問い合わせ下さい。

ただし、参加したことのない遺族を優先するため、過去に参加経験のある遺族についてはお断りする場合があります。

問合せ先

広島県健康福祉局社会援護課

☎(513)3036

第8回広島県障害者陸上競技大会の 開催・出場選手の募集について

（兼第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会2014」広島県代表選手選考会）

日 時：平成26年5月11日（日）※雨天決行
受付：8時20分～ 開会式：9時20分～ 競技：10時～（予定）

場 所：東広島運動公園（アクアパーク）陸上競技場
（東広島市西条町田口67-1）

参加資格：平成26年4月1日現在、13歳以上で広島県内に在住する身体障害児・者、知的障害児・者、精神障害者。（広島市在住の方は除きます。）

※ 身体障害児・者は、身体障害者手帳の交付を受けた方（内部障害児・者はぼうこう又は直腸機能障害のみ）

※ 知的障害児・者は、療育手帳の交付を受けた方。あるいは、医師の診断等により競技出場が適当と認められた方、および県内の特別支援学級、障害者支援施設などに在籍する方

※ 精神障害者は、精神障害者福祉保健手帳の交付を受けた方。あるいは医師の診断等により競技出場が適当と認められた方。ただし、全国障害者スポーツ大会の個人競技種目に精神障害者の区分が無いため、広島県代表選手選考の対象とはなりません。

申 込 み：実施要項で競技種目などを確認の上、所定の申込書でお申し込みください。

平成26年4月4日（金）締切

【詳しい資料や申込みについてのお問合せ】

スポーツ交流センター・おりづる

☎082(425)6800 FAX 082(425)6789

Eメール oridsuru@rehab-hiroshima.gr.jp

実施要綱・申込み用紙等詳細については下記ホームページに掲載してあります。

【広島県ホームページ】

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/62/rikujou8.html>

【スポーツ交流センターホームページ】

<http://www.rehab-hiroshima.org/ori-shin/webdir/253.html>



今年度、食生活改善推進員による健康料理教室では、各会場に「塩分測定器」を用意しました。毎回希望者に「あなたの家のみそ汁の塩分」を測定することができます。教室参加時に、みそ汁少量を御持参ください。（具は必要ありません）とてもお手軽に測定できますので、家庭の食事づくりの参考にしてください。

また、今年度も毎回テーマを決めた教室です。そして、毎回1食分の塩分2～3g、500～600kcalの減塩低カロリー、おいしく健康的な食生活のためのヒントをお伝えしますので、誘い合って御参加ください。

食生活改善推進員による健康料理教室

テーマ：「食事のバランスについて学ぼう ～春のバランスヘルシー弁当～」

会 場	日 時	
保健センター	4月21日(月)	10時～13時
横浜ふれあいセンター	4月24日(木)	
小屋浦ふれあいセンター	4月25日(金)	

実習献立(予定)：桜のおこわ、鶏のから揚げ、^{ふき}落としたけの炒め物、キャベツとかまぼこのゆかりあえ、ミルク粉ふきいも、いちご

各回共通
持ってくるもの

エプロン、三角巾、米75g

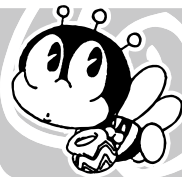
*どなたでも参加できます。

3日前までに、会場へ申し込んでください。



毎月19日は
「食育の日」!
4月19日は
家族一緒に
ご飯を食べよう

生涯学習だより (第145号)



☆展示【町民センター 1階展示室】
広島翔洋高等学校作品展 4月13日(日) まで
「筆の里ありがとうのちょっと大きな絵がみ大賞」巡回展
4月16日(水)～4月30日(水)

【今月の休館日】
☆町民センター・B&G海洋センター
毎週月曜日、29日(火)昭和の日
【ホームページアドレス】
<http://www.town.saka.lg.jp/sakacho/>

きのうよりちがう新しい自分との出会い!

新しいことを人とふれあいながら学んだりすることは、自身の生活を心豊かなものしてくれます。学ぶことの楽しさや、すばらしさを仲間と共に共感することによって、「もっと知りたい」、「学び続けたい」という気持ちが湧いてくるでしょう。町民センターでは、町民のみなさんの「学びたい」という気持ちを支援できるように多彩な内容の講座を開催しています。毎月「広報さか」に掲載しますので、是非ご覧ください。なお、今月は別紙配布の「出会い、ふれあい、学びあい」にて自主グループを紹介しています。みなさんふるってご加入ください。

今こそモノを手放そう！
～自分に向き合う片付け術～

物を手放すことは収納への大事な一歩。幸せ生活のきっかけにしましょう。
と き 4月25日(金) 13時30分～15時30分
と ころ 町民センター 視聴覚教室
講 師 整理収納アドバイザー 松川 晶子 氏
対 象 どなたでも 持 参 物 筆記用具
定 員 20名 参 加 費 500円
申込締切 4月18日(金)
【申込み・問合せ】町民センター ☎(820) 1515

第75回 ようよう坂町ウオーキング
～春満喫ウオーク～

と き 4月13日(日) 受付 9:00～
ウオーキング 9:30～11:30
コース
広島文化学園大学→坂中学校→尾鷹公園(桜)→「世界の石」
ロード→坂町漁協前→森山ジョギングコース(山桜)→鯛尾地区
→横浜公園(桜)→広島文化学園大学(約6km、約2時間)
集合場所・解散場所/広島文化学園大学 広島坂キャンパス
参加費/200円(保険料など)
対象/どなたでも(ただし、小学3年生以下は保護者同伴)
持参物/水筒、タオル、雨具、その他必要と思われるもの
◎申込み・問合せ 広島文化学園大学 広島坂キャンパス
☎(884) 1001(平日9:00～17:00)
*当日申込みも可能ですので、ふるって、ご参加ください。

坂町子どもの読書推進事業

図書館
こどもまつり

ご家族みんなで、お越しください。

4/27(日)
時間 10:00～13:00
ところ 図書館体験!
図書館の仕事を
してみよう
9:00～13:00
(受付は12:30)絵本の
読み聞かせ
コーナー
(幼児・児童向け)
10:30～11:00ミニ絵本
体験コーナー
11:30～13:00

◎問合せ 図書館 ☎(886) 3280



図書館だより 第108号

開館時間
火～金 9時～20時、土日 9時～17時
休 館 日
毎週月曜日、29日(火)昭和の日、図書整理日 30日(水)
☎(886) 3280
<http://www.town.saka.lg.jp/sakacho/>
坂町ホームページから「坂町立図書館」をクリックしてください。

坂町立図書館

検索 Click

図書館利用者の坂町自転車等駐車場使用料が
無料となります。

詳細は生涯学習課または都市計画課へお問い合わせください。
役場生涯学習課(町民センター) ☎(820) 1515
役場都市計画課 ☎(820) 1513
※自転車で来館される際は、交通ルール、マナーを守り、安全に気を付けましょう。

展示コーナー

「若い人に贈る読書のすすめ」
4月1日(火)～5月29日(木) まで

おはなし会

ところ 図書館 おはなしルーム
時 間 10時30分～11時

くれよんグループ
4月17日(木)にこにこグループ
4月24日(木)

折り紙体験コーナー

と き 4月16日(水)
10時30分～11時30分
ところ 図書館 多目的閲覧室
内 容 <らせん飾り>
持参物 おりがみ・サインペン・はさみ・のり

新刊のご案内

一般書

「相も変わらずきりきり舞い」 諸田玲子 著
「約束の海」 山崎豊子 著
「ケルト、神々の住む聖地」
ヘクター・マクドネル 著

児童書

「ひそひそ森の妖怪」 富安陽子 作
「だいいおういかのいかたろう」
ザ・キャビンカンパニー 作
「おひざでだっこ」 長谷川義史 絵
その他、多数あります。

この本読んでみて!

『いつもこどものかたわらに』

細谷亮太 作

小児難病の治療に半生を捧げる専門医が、こどもを看取る悲しみ、映画作り、四国八十八ヶ所巡礼の結願、レスパイト、俳句など、滲み出る数々の思いを綴ったエッセイ。

オススメ図書コーナー

「本が好きになる本」

純粋に本の面白さや感動を味わえるのは子供のころです。本の持つ力、本を読む楽しさを伝える児童書を揃えました。本の世界が開けますよ。

ベストセラーズ

(3月2日 中国新聞)

1	穴	小山田浩子
2	美雪晴れ みをつくし料理帖	高田郁
3	人生はニャンとかなる!	水野敦也、 長沼直樹
4	麒麟の翼	東野圭吾
5	小さいうち	中島京子

2月の貸出ベスト3

一般書

「美味しんぼ」 雁屋哲 作
「警視庁捜査二課・郷間彩香 特命指揮官」 梶永正史 著
「湯島ノ罌」 佐伯泰英 著

児童書

「長沼毅の世界は理科でできている」
長沼毅 監修
「からすのおかしやさん」 かこさとし 作
「5分後に意外な結末 1」 学研教育出版

図書館からのお知らせ

こどもの読書週間(4月23日～5月12日)にあわせて、4月27日(日)に『図書館こどもまつり』を開催します。多くの子供たちに図書館や読書に親しんでもらう機会をつくりまします。ミニ絵本づくり・クイズ・受付体験・おはなし会があります。ぜひお越しください。

坂町史

親から子ども、
孫へ受け継ぐ

第1回「花見」

昨年3月に『坂町史』全4編が完成しました。今月から、各編のトピックを順番にご紹介します。第1回目の今回は、「生活文化編」の聞き取りより、昔の行事「花見」についてご紹介します。

4月といえば「花見」ですが、昔は「花見節句」と呼び、4月3日に行われていました。子ども達は山で「台場」という陣地をつくり、母親の作った弁当とひょうたん型のニッケイ水（トッピン）を買って登り、楽しんだようです。翌日4日は「残り節句」といい弁当の残りを詰め、さらにもう一日を楽しむことができました。子ども達にとっては、ご馳走の食べられること、そして大人にとっては、忙しい日々の中で心身ともにくつろげる、だれもが楽しみにしていた「ハレ」の行事だったようです。

「生活文化編」に収録してある聞き取りからは、坂での生活の様子をいろいろとつかうことが出来ます。テーマごとに46組のべ69人の方のお話を収録しています。ぜひ、手にとって昔の坂を想い、子ども、孫に伝えていただきたいと思います。



▲花見風景



▲花見弁当（再現）

坂町の民具Ⅱ

37

煙 管

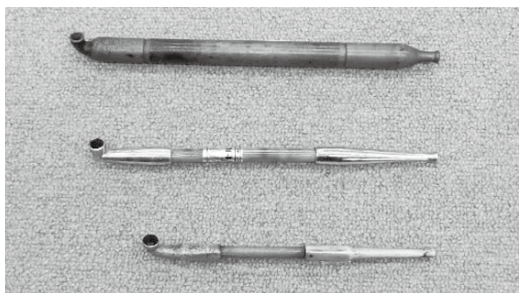
コロンブス達によって、アメリカ大陸が発見されると間もなく、ヨーロッパにもたらされたのが、新大陸を原産地とする煙草です。前回述べたように、たちまち我が国にも喫煙の風習が広まりました。その頃はもちろん紙巻き煙草でなくて、刻み煙草が主流でしたから、喫煙時に煙管は欠かせないものでした。また、紙巻き煙草が一般的になっても、手に入りにくい時や、節煙を目的として、1本をいくつかに分けて吸うため、パイプ代わりに使われたこともありました。

何れにしてもこの道具は、写真㊤・㊦のように、先に火皿がついたL字形の金属製の雁首と、同じく金属製の吸口を、細い竹製の羅字でつないだものです。写真㊦のように全体が1種類の金属のものもあります。

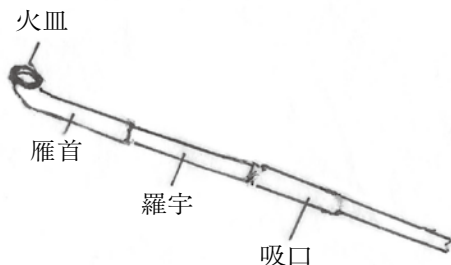
煙管は長く使っていると、真っ黒な煙草の脂が管の内側にべっとりとつき、煙の通りを悪くすると共に、風味を損なうので、時々稲藁の芯などを通して掃除しなければなりません。また、羅字が割れたりしたときには、交換の必要があり、これを取り替えることで生計をたてる「羅字屋」と言う職業が成り立っていた時代もありました。ところで羅字という名ですが、初めごろこれにラオスから輸入された黒斑竹を使ったからと言われています。

また、初期の雁首や吸口は、鉄製の無骨なものでしたが、やがて銅の合金の真鍮などになりました。さらに金製や銀製の、細かな彫金を施した芸術品の部類に入るものもあって、今も大切に保存されているようです。

(坂町文化財保護委員)



▲江戸時代から昭和40年代まで



平成26年度 こども教室学級生募集



教室名	講師名	開催曜日・(初回受講日)・時間	対象	定員	受講料
こども 絵画工作教室	神田 康子氏	第1・3土曜日 (第1週が祝日のため初回 5/17) 幼児 10時～ 小学生 11時～	幼児～ 小学6年生	幼児 12名 小学生 20名	初回受講日と後期の年2回納入
こども 英会話教室	クリスティーン氏	第2・4土曜日 (5/10) 13時30分～15時	小学1・2年	25名	前期 (5月～9月) 4,000円 (こども料理教室は、2,000円)
こども ヒップホップ教室	松谷 絵梨氏	第2・4土曜日 (5/10) (低学年) 小学1～3年生 10時～10時45分 (高学年) 小学4～6年生 10時45分～11時30分		低学年 20名 高学年 20名	後期 (10月～3月) 4,800円 (こども料理教室は、2,400円) * 1回分400円で試算。納入した受講料は返却しません。 (材料費等別途必要)
こども料理教室	井野口明子氏	第2水曜日 (5/14) 15時～17時 授業が遅くなった場合、 授業終了後の参加可能	小学1年生～ 小学6年生	16名	* 1回分400円で試算。納入した受講料は返却しません。 (材料費等別途必要)
こども硬筆教室	玉澤 恵氏	第2・4水曜日 (5/14) 15時～17時 授業が遅くなった場合、 授業終了後の参加可能		20名	
こどもマナー教室	中村 照子氏	第1・3土曜日 (第1週が祝日のため初回 5/17) 14時～16時		20名	
わくわく チャレンジスクール		第4土曜日 (5月のみ第3土曜日 5/17) 10時～12時	小学3年生～ 小学6年生	60名	入会時 1,000円 (材料費等別途必要)

【ところ】 町民センター

【受付期間】 4月3日(木)～4月13日(日)

【受付場所】 町民センター、坂公民館、横浜ふれあいセンター、小屋浦ふれあいセンター

【受付時間】 町民センター：火曜日～金曜日 9時～21時、土曜日・日曜日 9時～17時

その他の施設：月曜日～金曜日 9時～17時

【申込方法】 上記の受付場所にある所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

※申し込み多数の場合は、4月19日(土)10時から抽選(保護者の立会い可)を行います。

抽選の対象となった方には、4月16日(水)までに電話でご連絡します。

申込みの際には、日中に連絡可能な電話番号等をご記入ください。

※受講生が少ない時は、開催できない場合もあります。

【問合せ】 町民センター ☎(820)1515 〈休館日：月曜日・祝日〉

先着順では
ありませんので、
ご注意ください。

今月の納税

4月30日(水)

固定資産税 …… 第1期分
軽自動車税 …… 全期
国民健康保険税 …… 第1期分
介護保険料(1号) …… 第1期分

口座振替日 4月28日(月)

口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします



満1歳の誕生日おめでとう

このコーナーへの掲載を希望される場合は、誕生日の前月10日までに、写真に氏名・住所・電話番号・生年月日・コメント(40字程度)を添えて役場企画財政課へ、持参または送付してください。

◎問合せ 役場企画財政課 ☎(820)1507



にしだ けんご
西田 健悟くん
(横浜中央三丁目)
平成25年4月7日生まれ
いつも笑顔のけんけん。
お誕生日おめでとう!! 大好きなお兄ちゃんと元気に仲良く育ってね♡



おかの しもん
岡野 史門くん
(坂東二丁目)
平成25年4月9日生まれ
甘えん坊でかわいい史門くん、お誕生日おめでとう♡お兄ちゃん達と元気いっぱい、すくすく大きくなってね♪



つだ ゆうすけ
津田 祐輔くん
(植田四丁目)
平成25年4月23日生まれ
ゆうくん、お誕生日おめでとう!
これからも、元気にすくすく大きくなってね。



あらき ゆうほ
荒木 悠歩くん
(平成ヶ浜三丁目)
平成25年4月24日生まれ
あっという間に1歳。底なしの食欲で体も声も態度もBIGに成長中!! 心も大きな子になぁ〜れ♪



ひの りゅうしん
日野 琉真くん
(横浜東一丁目)
平成25年4月27日生まれ
りゅうちゃん、お誕生日おめでとう!! 甘えん坊で元気いっぱいのりゅうちゃんが皆大好き♡お姉ちゃん達に負けにくいくらい大きくなあれ!!

◎一般寄付者
中村 紀昭 (鯛尾二丁目)
◎香典返し寄付者
宮本 賢次 (横浜西二丁目)
土田やエノ (植田三丁目)
塩谷 一美 (小屋浦三丁目)
澄川 宏一 (広島市)

つぎの方々から、社会福祉事業資金としてご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
(2月受領分・敬称略)

あたたかい心のともしび



よろこび



おめでとうございます

2月届出分 敬称略

かなしみ



おくやみ申し上げます

2月届出分 敬称略

河東 央成^{おうせい} (坂西一丁目)
松本 咲優香^{さゆか} (平成ヶ浜三丁目)
中村 心望^{このみ} (平成ヶ浜三丁目)
藤田 あかり (横浜中央三丁目)
荒木 凛香^{りんか} (小屋浦一丁目)
助田 真健^{まこと} (小屋浦三丁目)

大山 早百合^{はやゆかり} (坂東二丁目)
宮尾 勝三^{かつさん} (坂東二丁目)
横洲 洋隆^{ようりゅう} (北新地三丁目)
宮本 タマエ^{たまえ} (92) (横浜西一丁目)
御園生 幸治^{こうじ} (84) (小屋浦三丁目)



愛の献血(400ml)にご協力ください

※献血の会場が、午前と午後では異なります。
※安全で責任のある献血のため、ご自身を証明できるものの提示をお願いしています。

■種類 400ml献血のみ ■年齢 男性 17~69歳
■基準 男女とも体重50kg以上の方 女性 18~69歳

かけがえのない大切な命を守るため、愛の献血にご協力ください。
採血された方には、7項目について血液検査を行い、ご本人に通知されます。
ご自分の健康管理のためにも、献血にご参加ください。
なお、65歳以上の献血については、60~64歳の間に献血経験がある方に限ります。

問合せ 坂町社会福祉協議会 ☎(885)2611

日時 及び 会場

4月6日(日)
9時~12時
(小屋浦ふれあいセンター)
14時~15時30分
(町民センター)